ROYAL ENFIELD OWNER'S MANUAL

HIMALAYAN

JAPANESE

はじめに

新しい Royal Enfield Himalayan へようこそ。
新型 Himalayan は、その環境に適応する存在です。常に変化し、急速に変化する奥深く神秘的な空間。
この旅のために設計されたマシンはこれまでありませんでした。新型 Himalayan は多くのバイクを 1 つに集約したものです。
地形に適応します。ライダーに適応します。自然の要素に適応します。
新しい 452cc 水冷シェルパエンジンとあらゆる状況に対応できる 6 速ギアボックスを搭載しています。初めて搭載された Tripper (TM) アップワードダッシュには、フルマップナビゲーションとヒマラヤへの数週間の旅でも、街中を 30 分間走る旅でも、冒険に備えたさまざまな機能が備わっています。
これはヒマラヤを探検し、冒険が導くどこへでも行ける、能力豊かな多目的マシンです。
新しい Royal Enfield Himalayan.
Built by Himalayan.
#AllRoadsNoRoads
-Royal Enfield Team

注意事項

本書に記載されているすべての情報は発行時点で入手可能な最新の製品情報に基づいています。継続的な改善により本書に記載されている情報とお客様の車両に関連する情報とが異なる場合があります。
最新の仕様、機能などについては必ずRoyal Enfieldの正規販売店にご相談ください。Royal Enfield は事前の通知なしにいつでも製造変更を行う権利を有し、これにより過去に製造または販売された車両に同様の変更を行う義務を負いません。掲載されている画像は説明用であり、実際の車両モデルと同一ではないことがあります。アクセサリーなど標準装備されていない場合があります。テクニカルスペックはRoyal Enfieldの裁量により事前の予告なく変更されることがあります。
シートや金属部品の分解および組み立てに際しては、鋭利な部分に注意してください。これにより怪我をする可能性があります。
「© Copyright 2024 Royal Enfield (A unit of Eicher Motors Ltd.)。このマニュアルのいかなる部分もRoyal Enfield社の書面による明確な許可なしに複製、配布、またはその他の方法で取り扱うことはできません」。

免責事項

1. バイクのつや消し仕上げの塗装面を磨くと光沢が増すため、磨かないでください。
2. 塗装された部品は水で洗浄し、強力な溶剤や洗剤を使用しないでください。
3. つや消し仕上げの部品に傷がついた場合、修正や除去することができません。
4. バイクのつや消し仕上げの塗装部分には保証は適用されません。

注記

■ この車両はEuro 5 +（Euro 5）規制に適合しています。 Part No. RAM00829/A / 15th July 2026

目次

安全に関する定義 4
個人および車両に関する情報 5
安全運転のヒント / ガイドライン 6
交通ルール 10
アクセサリーと荷物 12
技術仕様 14
推奨潤滑剤 19
車両の識別番号 20
主要部品の位置 21
制御操作 24
警告表示と安全システム 64
運転前のチェック 68
慣らし期間 69
始動 70
ギアシフト、運転、停止 74
駐車 77
ツールキット 79
メンテナンスに関する簡単なヒント 80
長距離旅行の注意事項 113
リアサスペンションの設定 114
洗車手順 116
保管上の注意 119
トラブルシューティング 120
環境配慮 122
定期メンテナンス 123
一般的な 保証条件と条項 128
ボーダレス保証条件および条件 135
お客様の責任 / 責任の制限 137
排出ガス保証 138
燃料蒸発ガス防止装置保証 143
無線設備認証 144
サービス / メンテナンス記録 145
配線図 146
注意事項 147

安全に関する定義

「警告」、「注意」、「注記」というタイトルで提供される情報は、お客様の安全とお客様の車両および他の方への配慮と安全に関するものです。これらの情報は注意深くお読みください。無視すると、お客様自身または他の方が負傷したり、車両が損傷したりする可能性があります。

警告

潜在的に危険な状況を示します。このメッセージを無視するとライダーまたは他の方が負傷する可能性があります。

注意

このメッセージを無視すると車両が損傷する可能性があります。

備考

理解を深めるために重要かつ役立つメッセージを示します。

個人および車両に関する情報

氏名											
番地											
市区町村											
都道府県								国			
連絡先番号	自宅 :							オフィス :			
	携帯 :							メール :			
免許証番号								有効期限 :			
モデル								色 :			
エンジン番号											
車台番号											
タイヤメーカー	フロント :							リア :			
タイヤ番号	フロント :							リア :			
バッテリーメーカー								バッテリー番号			
販売者											
販売日											

安全運転のヒント /ガ イドライン

- 新しい車両を操作する前に、ご自身の安全、車両の安全、そして他者の安全のためにこのオーナーズマニュアルに記載された操作およびメンテナンスの指示を注意深くお読みいただき、それに従ってください。
- 自国の交通ルールを理解し、遵守してください。
- 車両を始動する前にブレーキ、クラッチ、ギアシフター、ハンドルバーの操作系が適切に作動するか､タイヤの空気圧、燃料とオイルレベルなどが適切かを点検してください。
- Royal Enfield の純正スペアパーツや承認されたアクセサリーのみを使用してください。他社の部品を使用すると､車両の性能に影響を及ぼし保証が受けられなくなる可能性があります。詳細は Royal Enfield の正規サービスディーラーへご確認ください。
- バイクに燃料を給油するときは常に細心の注意を払い､以下のガイドラインを注意深く守ってください。
  - ★ 携帯電話やその他電子機器の電源を｢オフ｣にします。
  - ★ 燃料給油や燃料システムの整備を行う際は､喫煙はしないでください。また、車両の近くに火気がないことを確認してください。
  - ★ 換気の良い場所でエンジンを切った状態で燃料を給油してください。
  - ★ 燃料タンクのキャップをゆっくり開けてください。
  - ★ 燃料タンクを満タンにしないでください。燃料の膨張を考慮して､アンチスプラッシュプレートの底まで燃料を入れてください。

安全運転のヒント /ガ イドライン

警告

Royal Enfield はアフターマーケットやカスタムメイドのロングフロントフォークやサスペンションなど、性能やハンドリングに悪影響を及ぼす可能性のある非標準部品を使用しないように注意しています。オリジナルの部品を取り外したり改造することは性能に悪影響を与え、事故の原因となる可能性があります。

- 新しい車両は特別な慣らし運転手順に従って運転する必要があります。それぞれのセクションに記載されている慣らし運転の手順を参照してください。
- あらゆる状況下での車両の操作と操縦特性に慣れるまでは、交通の少ない場所で適度なスピードでのみ運転してください。
- 法定速度を超えたり、スピードを出し過ぎないでください。走行条件が悪い場合は必ず速度を落としてください。高速になると安定性に影響を与えるその他の条件の影響が大きくなり制御不能になる可能性が高くなります。

備考

経験の浅いライダーは正しい車両の乗り方について正式なトレーニングを受け、車両の操作に十分慣れておくことをお勧めします。初心者は適度な速度で運転しながら、さまざまな条件で経験を積む必要があります。

路面や風の状態に十分注意してください。どのような車両であっても、以下のような影響を受ける可能性があります：

- ★ 対向車からの強風
- ★ 荒れていたり凹凸がある路面

安全運転のヒント /ガ イドライン

★ 滑りやすい路面

これらの力は車両の操縦特性に影響を与える可能性があります。その場合は車両の速度を制御可能な状態まで落としてください。急ブレーキをかけないでください。

- 安全運転をしましょう。車両は事故の際に自動車と同じようには保護されないことを覚えておいてください。最もよくある事故の状況は相手の車両・ライダー／自動車・ドライバーが車両を見落としたり認識しなかったりして、対向車のに衝突してしまうことです。
- 認可されたヘルメット、車両の運転に適した衣服と靴を着用してください。特に夜間は交通渋滞の中での視認性を高めるため、明るい色が最適です。ゆったりとした服やスカーフは避けてください。
- 同乗者を乗せる場合は、お客様の責任において適切な運転手順を指導してください。
- 経験豊富な熟練ライダーであり、あなたの車両の動作条件に精通していない限り、いかなる状況でも他の方にあなたの車両を運転させないでください。

警告

- 定期的にショックアブソーバーとフロントフォークを点検し、漏れがないか確認してください。摩耗した部品は交換してください。摩耗した部品は安定性と操縦性に悪影響を及ぼす可能性があります。
- 排気ガスには有害な一酸化炭素や、がん、先天異常、その他の生殖障害を引き起こす可能性のある化学物質が含まれています。これらは車両の耐久性や寿命の操作に影響を与える可能性があります。
- お客様の安全のために、記載されているサービスやメンテナンスの推奨事項はすべて実施してください。推奨された間隔での定期的なメンテナンスを怠ると車両の安全性、耐久性、寿命に影響を与える可能性があります。

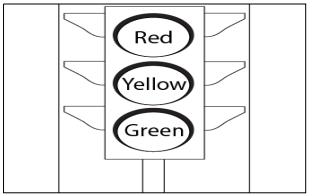
安全運転のヒント /ガ イドライン

- 排気システムが熱いときは、絶対に触れないでください。乗車中は脚を完全に覆う衣服を着用してください。排気システムはエンジンが作動しているときは非常に熱くなり、エンジンを切った後でも触れないほど熱い状態です。適切な衣服や保護服を着用しないと重傷を負う可能性があります。
- 車両のバッテリーには、がん、先天異常、その他の生殖障害を引き起こす可能性がある鉛、酸、化学物質が含まれています。バッテリーを取り扱う際は細心の注意を払い、バッテリーを取り扱う毎に手をよく洗ってください。
- 車両の運転中に生じた疑問や問題については Royal Enfieldの正規サービスディーラーにご相談してください。これを怠ると初期の問題を悪化させたり、高額な修理が必要になったり、身の危険を招く恐れがあります。
- 車両を牽引しないでください。牽引ロープの力により牽引された車両の操縦性と操作性が損なわれます。車両を輸送する必要がある場合はトラックまたはトレーラーを使用してください。
- 車両の後ろでトレーラーを引かないでください。トレーラーを牽引するとブレーキ効率が低下し、タイヤに過負荷がかかり、操縦が不安定になり、車両の制御が失われて事故につながる可能性があります。

交通ルール

- ナンバープレートは法律で定められた位置に取り付け、常にはっきり見えるようにしてください。
- 路面の状態に応じて安全な速度で走行してください。以下の路面を走行する際は細心の注意を払ってください。
  - ★ ほこりっぽい
  - ★ 油が垂れている
  - ★ 凍結している
  - ★ 濡れている
  - ★ 砂や砂利がある
- 車両の安定性を妨げる可能性のある、落ち葉や滑りやすい物質、砂利などの細かいダストに注意してください。
- 対向車とすれ違うときは道路の中心線の正しい側を通ってください。
- 同じ方向に進む他の車両を追い越すときは、方向指示器を作動させて注意を払ってください。交差点、カーブ、または坂を上る/下るときに同じ方向に進む他の車両を決して追い越そうとしないでください。
- 交差点では、左側または右側の車両に道を譲ってください。自分が優先だと思ってはいけません。
- 停止、曲がる、追い越しをするときは、自国の交通ルールに従ってください。右折または左折するときは歩行者、動物、および他の車両に注意してください。
- 交差点の手動制御を含むすべての交通標識に対して必ず従ってください。学校の近くの交通標識や踏切の注意標識では速度を落としてください。
- 曲がる場合は、曲がる地点に到達する少なくとも 30 メートル手前に合図をしてください。センター ラインに寄り、速度を落として慎重に曲がってください。
- 信号を無視しないでください。交差点で信号が青から赤（またはその逆）に変わるときは、速度を落として信号が青に変わるまで待ちます。黄色や赤の信号では、絶対に走り抜けないでください。

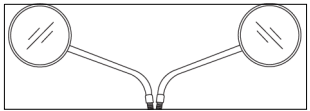
交通ルール



- 合図なしに縁石や駐車場から離れないでください。走行中の車道に進入する場合は、道を空いていることを確認してください。走行中の車線には常に優先権があります。
- 車両を駐車するときは転倒を防ぐために、しっかりとした平坦な場所に駐車してください。
- 車両を盗難から守りましょう。車両を駐車した後はステアリングヘッドがロックされていることを確認しイグニッションキーを抜いてください。

サイドビューミラー

車両には凸面鏡が装備されており曲面になっています。



通常の平面鏡に比べ、後方視界が広くなるように設計されています。しかし、このタイプの鏡で見る車などは平面鏡で見るよりも小さく、遠くに見えることになります。
これらのミラーに映る車両/物体の大きさや距離を判断するときは注意してください。サイドミラーを緩めて調整するにはツールキットにある道具を使って調整してください。

備考

ミラーを通してバイクの後ろにある車両や物体との相対的な距離を測るには運転姿勢を参考にして、肩の小さな部分が見え、車両の後ろの大部分がはっきりと見えるように各ミラーを調整します。

アクセサリーと荷物

Royal Enfieldは車両と共に徹底的にテストされて承認された純正バイクアクセサリーを幅広く提供しています。
したがってアクセサリーを取り付けたり追加の重量を載せる際はライダーが車両の安全な操作に責任を持つ必要があります。
同乗者を乗せたり荷物を運ぶとき、またはアクセサリーを取り付けるときは、以下のガイドラインに従ってください。

- アクセサリーを装備した車両で一人乗車、二人乗車、または荷物を積載する場合は時速 110 kmを超えないようにしてください。
- 荷物の重量をバイクの近く、できるだけ低い位置に置いてください。これにより車両の重心が急激に変わることを最小限に抑えられます。
- 車両の両側に均等に重量を分散します。
- ライダーの後ろにかさばる荷物を積んだり、ハンドルやフロントフォークに重量を加えたりしないでください。
- 荷物がしっかりと固定され、走行中に動かないように定期的に再点検してください。アクセサリーが緩く取り付けられていると車両の走行に影響を及ぼし車両の操縦性と安定性に影響を及ぼす可能性があります。
- フェアリング、フロントガラス、バックレスト、ラゲッジラックなどの表面の大きなものは車両のハンドリングに悪影響を及ぼす可能性があります。車種別のRoyal Enfield 純正アクセサリーのみを使用し、取り付け手順に従ってください。

アクセサリーと荷物

警告

- 車両に重量物を積んだり、アクセサリーを不適切に取り付けたりしないでください。車両の安定性、操縦性、安全な操作に影響を及ぼし重大な傷害や死亡事故につながる可能性があります。
- Royal Enfieldは車両と共に徹底的にテストされて承認された純正バイクアクセサリーを幅広く提供しています。
- Royal Enfieldはアフターマーケットやカスタムメイドのフロントフォークやサスペンションなど、性能やハンドリングに悪影響を及ぼす可能性のある非標準部品を使用しないように注意しています。オリジナル部品を取り外したり変更したりすると車両の性能に悪影響を与え、事故を引き起こし、重傷や死亡につながる可能性があります。
- モデル / 設計仕様を無視しないでください。無視すると車両とアクセサリーの両方の誤用となり車両の操縦性と性能に悪影響を与え、事故を引き起こし、重傷または死亡につながる可能性があります。

荷物のカテゴリー

- パニアケースおよびトップボックスの純正アクセサリー取り付け手順書で定義されている最大積載量を超えないようにしてください。

技術仕様

エンジン

エンジン タイプ	単気筒、4 ストローク、DOHC、SI エンジン、水冷、フューエルインジェクション
ボア	84 mm
ストローク	81.5 mm
排気量	452 cc
圧縮比	11.5:1
最大出力	29.44 kW @ 8000 rpm
最大トルク	40 Nm @ 5500 rpm
アイドリング回転数	1300 rpm
始動方式	電動
エアフィルターエレメント	ペーパーエレメント
潤滑	セミドライサンプ
冷却	水冷

イグニッションシステム

点火装置	ECU 制御
スパークプラグ	Champion
スパークプラグギャップ	0.8 mm 〜 0.9 mm

技術仕様

トランスミッション

クラッチ	湿式多板、スリップ&アシスト
プライマリドライブ	ギア
プライマリ比	2.028:1
ギアボックス	6 速
ギア比	1 速 3.083:1
	2 速 2.059:1
	3 速 1.600:1
	4 速 1.286:1
	5 速 1.087:1
	6 速 0.958:1
セカンダリドライブ	スプロケットおよびチェーン（5/8 ピッチ）
セカンダリ比	3.133:1

シャシー

フレーム	スチール、ツインスパーチューブラーフレーム
サスペンション	
フロント	倒立フォーク、43 mm フロントホイーラベル 200 mm
リア	リンケージタイプモノショック リアホイトラベル 200 mm
ブレーキ	
フロントディスク	油圧ディスクブレーキ、320 mm ベンチレーテッドディスク、ダブルピストンキャリパー
リアディスク	油圧ディスクブレーキ、270 mm ベンチレーテッドディスク、シングルピストンキャリパー
ブレーキシステム	デュアルチャンネル ABS、切り替え可能

技術仕様

ホイールのタイプ	標準タイヤ	交換用タイヤ:標準または下記のタイヤに交換してくだ
フロント	90/90-21 M/C 54H CEAT (Gripp RE F)	90/90-21 M/C 54V TL M+S Metzeler (Karoo Street)
リア	140/80R17 M/C 69H CEAT(Gripp Rad steel RE)	140/80 R17 69V M/C TL Metzeler (Karoo Street)

ホイールのタイプ	一人乗車・二人乗車
フロント&リア	32 psi

注記

- チューブタイプのリムの場合はチューブ付きのタイヤを取り付けます。
- チューブレスタイプのリムにはチューブレスタイプのタイヤのみを使用してください。

ステアリングロック ..... 内蔵
燃料タイプ ..... 無鉛プレミアムガソリン
燃料供給 ..... 電子燃料噴射、42 mm スロットルボディ、ライドバイワイヤシステム

燃料タンク容量 ..... 17.0* L
燃料残量警告 ..... 3 L ± 0.5* L
デッドストック ..... 0.95 L ～ 1.15* L

* 上記の値は概算であり、実際の燃料充填容量は記載された値と異なります。

技術仕様

エレクトリカル

オルタネーター出力	280 W @ 1400 rpm
発電	オルタネーター、三相
システム	12 V - DC
バッテリー	12 V - 8 Ah VRLA
ヘッドランプ	12 V、FPL 1.5 W LED、ロービーム 12.12 W、ハイビーム + ロービーム 14.22 W
ブレーキランプ	12 V、1.4 W
テールランプ	12 V、0.31 W
ナンバープレートイルミネーター	12 V - LED
計器パネル	カラー TFT(薄膜トランジスタ)
方向指示器	フロント - 12 V、2 W x 1 個 リア - 12 V、4.2 W x 1 個
ハザードランプ	フロント - 12 V、2 W x 2 個 リア - 12 V、4.2 W x 2 個
ホーン	12 V、2.5 A
スターターモーター	12 V - 0.7 kW
充電ポート	USB 2.0 タイプ C - 出力 5 V、2 A

警告

指定定格以外の電球 / 電気機器を使用すると、電気システムの過負荷 / 異常動作 / 早期故障につながります
Royal Enfield が承認していない改造や取り付けは、車両の性能に重大な影響を与え、保証が無効になります。

技術仕様

寸法

全長 ..... 2285 mm
全幅 ..... 852 mm
全幅..... 900 mm（ハンドガード付き）
標準シート高
（二人乗り仕様に適用） ..... 825 mm ～ 845 mm に調整可能
ローシート高
（二人乗り仕様に適用） ..... 805 mm ～ 825 mm に調整可能
ローシート高
（一人乗り仕様に適用） ..... 860 mm
全高 ..... 1316 mm
ホイールベース ..... 1510 mm
地上高 ..... 230 mm

重量

車両重量（アクセサリーなし）... 195 kg
車両総重量
（アクセサリーなし）..... 394 kg

備考

- 上記の値 / 寸法は参考値です。
- 車両は継続的に改良されているため、仕様は予告なく変更される可能性があります。
- 車両の許容総重量を超えて使用しないでください。サスペンションとタイヤは最大総重量以上は機能しないように設計されています。

推奨潤滑剤

エンジンオイル		クーラント	フロントフォークオイル	ブレーキフルード
グレード	10W40 API SN, JASO MA2, Semi Synthetic	TOTAL COOLELF AUTO SUPRA -37 °C	SS-47G	DOT 4*
容量	**初回の乾燥充填量**: 2.4 L	**ラジエーター**: 乾燥時 - 915 ml サービス時 - 815 ml	**右フォーク**: 589 ± 2.5 ml	**フロント** - 90 ± 5 ml
	補充量: オイルサービス時 2.1 L (フィルター交換を含む)	**エキスパンションタンク**: 最大マークまで充填 - 200 ml	**左フォーク**: 507 ± 2.5 ml	**リア** - 80 ± 5 ml

* DOT 4 と他のブレーキフルードは混ぜないでください。

備考

1. 希釈済みクーラントはそのまま使用できるので希釈する必要はありません。
2. 推奨事項は予告なく変更される場合があります。
3. 上記の値は概算であり、実際の容量は異なる場合があります。

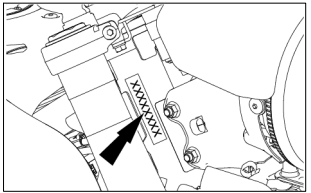
注意

不適切なオイルグレードを使用すると部品の寿命が短くなりパフォーマンスに重大な影響を及ぼします。

車両の識別番号

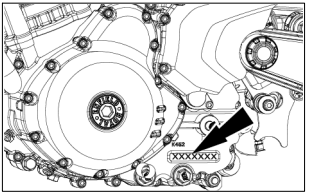
車台番号

車台番号 (VIN) はで右側のステアリングヘッド チューブ右側に刻印された 17 桁の番号です。



エンジン番号

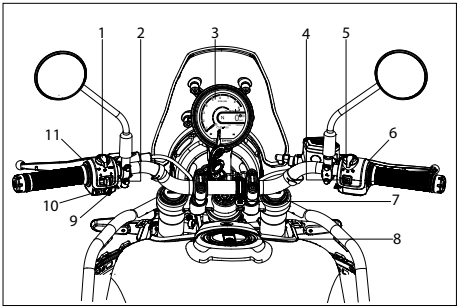
エンジン番号はギアペダルコネクタロッドの底部に刻印されています。



注意

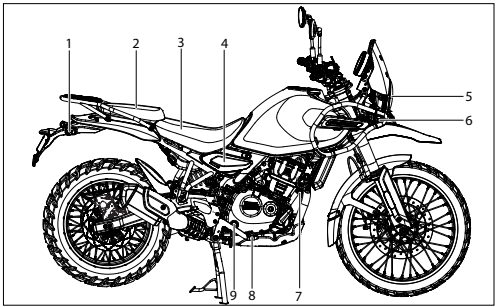
車両の車台番号 (VIN)/ エンジン番号を改ざんまたは変更することは違法であり、法律に違反するだけでなく車両登録と保証が無効になります。

主要部品の位置



1. ハイビーム / ロービーム / フラッシングスイッチ
2. 方向指示器スイッチ
3. インストゥルメントクラスター
4. モードスイッチ
5. イグニッション / エンジンキルスイッチ
6. ハザードスイッチ
7. USB 充電ポート
8. 燃料タンクキャップ
9. ジョイスティック
10. ホーンスイッチ
11. ホームボタン

主要部品の位置

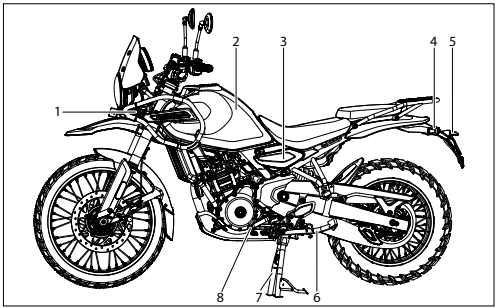


1. 右後方向指示器 *
2. パッセンジャーシート *
3. ライダーシート *
4. 右サイドパネル *
5. ヘッドランプ *
6. 右前方向指示器 *
7. ホーン
8. リアブレーキペダル
9. オイルレベルウィンドウ

免責事項

* 上記に表示されている右側面図の部品は参考用です。これらの部品は、選択されたバイクの車種によって異なる場合があります。

主要部品の位置



1. 左前方向指示器
2. 燃料タンク
3. 左サイドパネル
4. 左後方向指示器
5. ナンバープレートイルミネーション
6. サイドスタンド
7. センタースタンド
8. ギアチェンジレバー

免責事項

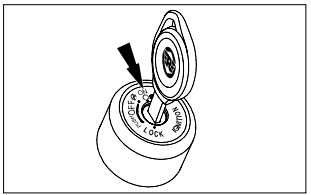
* 上記に表示されている左側面図の部品は参考用です。これらの部品は、選択されたバイクの車種によって異なる場合があります。

制御操作

イグニッションキー

⊠ “OFF”

○ “ON”



備考

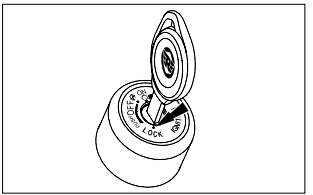
- キーはイグニッションがオフになっているかステアリングがロックされている場合にのみ抜くことができます。
- キーはイグニッション、燃料タンクロック、ステアリングロック、パッセンジャーシート共通です。
- キーは、キースロットからロックされた位置でのみ、燃料タンクとパッセンジャーシートから抜くことができます。

警告

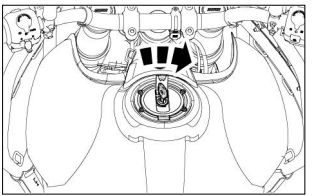
- 運転中はイグニッションスイッチを OFF にしないでください。
- そうすることで事故の原因となり車両に重大な損傷を与えるだけでなく、ライダーと他の道路利用者の両方に重傷を負わせる恐れがあります。

ステアリングロック

- ハンドルバーを一番左の位置まで回します。
- キーを OFF の位置に押し込み、押したままさらに反時計回りに回してステアリングシステムをロックします。
- キーを時計回りに回してステアリングのロックを解除します。



燃料タンクキャップ



■ 燃料タンクキャップの鍵フラップを持ち上げて、キーを挿入してください。
■ キーを時計回りに回してオープンにします。
■ キーを所定の位置に固定してキャップを押してロックします。
■ キャップからキーを抜き、フラップを閉じます。

警告

■ 燃料タンクに燃料を入れ過ぎないでください。
■ 燃料はアンチスプラッシュプレートの底までのみ入れてください。
■ 過剰に充填するとガソリンがEVAPキャニスターに入り、蒸発排出システムが損傷する可能性があります。

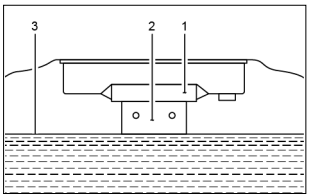
注意

■ ガソリンは揮発性、爆発性が非常に高いです。給油中は近くに火気や火花がないことを確認し、換気の良い場所でのみ給油してください。
■ ガソリンが塗装面にこぼれないように注意してください。ガソリンが塗装面にこぼれた場合は、永久的なシミが残る可能性があるため、すぐに拭き取ってください。
■ 給油中や燃料タンクのキャップが開いているときは喫煙しないでください。

制御操作

燃料充填レベル

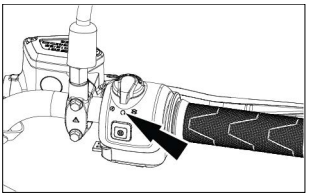
1. 燃料フィラーカラー
2. アンチスプラッシュプレート
3. 最大フューエルレベル



イグニッション/エンジンキルスイッチ

⊠ “OFF”

○ “ON”

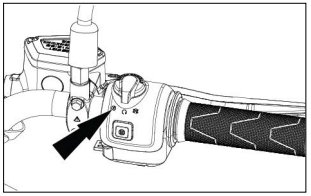


注意

■ エンジンが作動していないときはイグニッションスイッチを OFF にしてください。OFF にしないとヘッドランプが継続的に ON になるため、バッテリーが放電します。

エンジンスタートスイッチ

エンジンが始動するまで電動スイッチを最大 5 秒間押し続けます。



注意

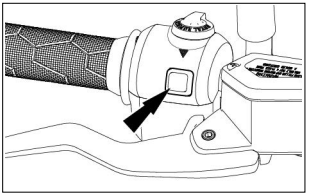
■ 車両を長時間停止する場合はバッテリーの放電防止のためにイグニッションキーを OFF にしてください。

ハザードライトスイット

■ ハザードボタンを押すとハザード点滅が ON になります。

注意

■ ハザード点滅はバッテリーに負担をかけます。必要がない限りハザードランプを長時間使用しないでください。



ハザード点滅を作動させる方法：

■ イグニッションスイッチをONにし、ハザードスイッチを押します。手動で解除（OFF）しない限りハザードは作動します。

■ イグニッションスイッチをONにし、ハザードスイッチを押すとハザードが作動し始めます - イグニッションスイッチを OFF にします

- ハザードは 30 分間作動し続けます
- 手動で OFF にしない限り。

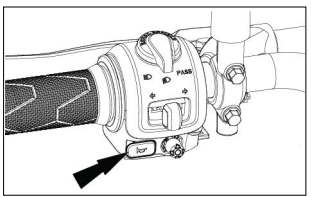
■ イグニッションスイッチがOFFの状態ではハザード点滅は作動しません。

警告

- ハザードランプスイッチが「ON」のときは方向指示器は作動しません。
- すべての方向指示器が同時に点滅します。

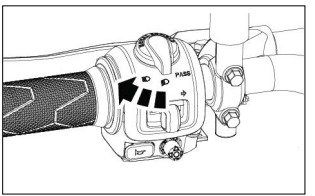
ホーン

ホーンボタンを押すとホーンが鳴ります。



ハイビーム/ロービームスイッチ

- ヘッドランプが「ON」の状態のとき、スイッチを切り替えることでハイビーム / ロービームが選択されます。ハイビームが選択されると、インストゥルメントクラスターにあるハイビームインジケーターが点灯します。



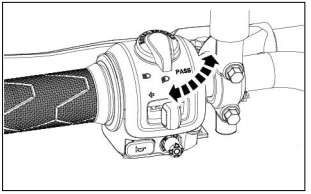
ハイビーム

ロービーム

制御操作

フラッシュスイッチ

ヘッドライトフラッシュのスイッチを押します。

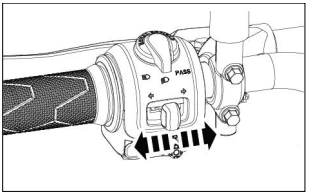


方向指示器スイッチ

⇦ 左方向指示器「ON」

⇧ 「OFF」(押すとキャンセル)

⇨ 右方向指示器「ON」

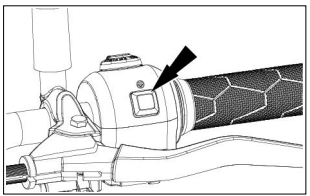


必要に応じて曲がる前にボタンをOFFの位置から左または右に押します。方向指示灯をキャンセルするには中央の位置に戻した後にスイッチを押し込みます。

制御操作

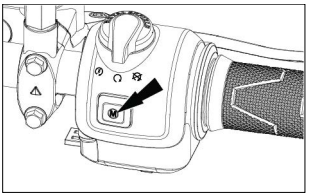
ホームボタン

左側のスイッチキューブにあるホームボタンは戻るオプションで使用されます。



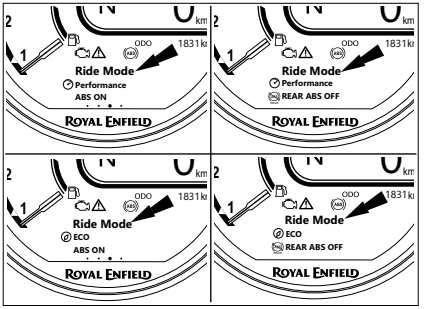
モードボタン

右側のスイッチキューブにあるモード ボタンはライディングモードを変更するために使用されます。



ライディングモード

- 右側スイッチキューブのモードボタンを押すとライドモードを表示および変更できます。
- ホーム画面にライドモードが表示され、以下のモードが利用可能です。
  - ★ Performance + ABS ON
  - ★ Performance + リア ABS OFF
  - ★ ECO + ABS ON
  - ★ ECO + リア ABS OFF



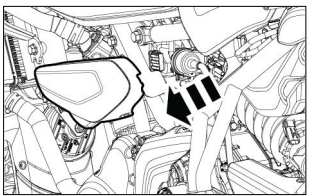
備考

- 静止状態でモードを performance + ABS ON から performance + リア ABS OFF に変更するには、モードボタンを 2 回押します。ディスプレイに performance + リア ABS OFF と表示され、画面を数秒間そのままにしておくとモードが変更されます。
- 同様に、モードをECO + ABS ONとECO + リア ABS OFFに変更することもできます。
- 動作状態ではABS をONにした状態でモードをperformanceから ECO へ、または ECO から performance へ変更することしかできません。動作状態でモードを変更するには、いくつかの条件を満たす必要があります。
  - ★ スロットルを閉める
  - ★ クラッチを切るか、ギアをニュートラルにする
- 上記の条件が満たされない場合クラスターはモードの変更を許可せず、クラスターのホーム画面にメモとともにモードを拒否します。
- 安全性を考慮し、動的状態ではABS のONからOFFへの切り替えは許可されていませんが ABS モードを ABS OFF から ABS ON に変更することは可能です。

制御操作

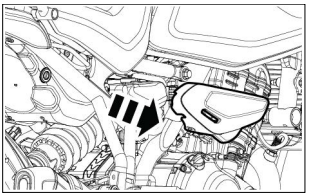
左サイドパネル

■ 左サイドパネルはツールキットに含まれている 4 mm 六角レンチを使用して六角ボルトを緩めて取り外します。



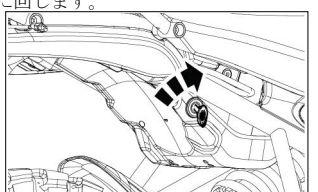
右サイドパネル

■ 右サイドパネルはツールキットに含まれている 4 mm 六角レンチを使用して六角ボルトを緩めて取り外します。

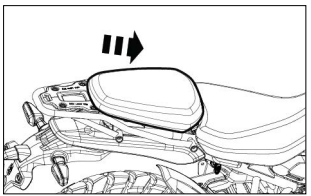


パッセンジャーシートとライダーシートの取り外し

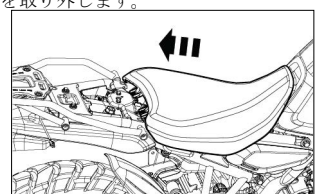
■ キーをパッセンジャーシートのキースロットに挿入し、時計回りに回します。



■ パッセンジャーシートを取り外すには、シートを前方にスライドさせます。



■ 次にライダーシートを後方にスライドさせてライダーシートを取り外します。



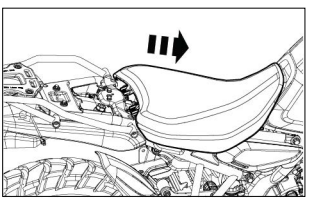
備考

■ ライダーシートの高さ調節はライダーシートの底側にあります。ライダーシートの高さを変更する場合は前後のシートロッドスロットを変更してください(二人乗り仕様に適用)。

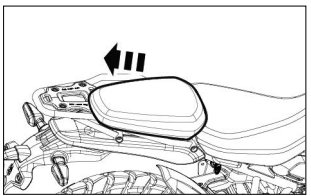
■ 取り外したシートは傷や汚れが付かないように安全な場所に置いてください。

パッセンジャーシートとライダーシートの取り付け

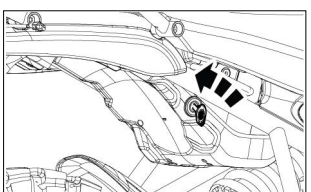
■ シートを前方にスライドさせてライダーシートがフレームに合うように確認してください。



■ パッセンジャーシートを置き、シートを後方にスライドさせます。

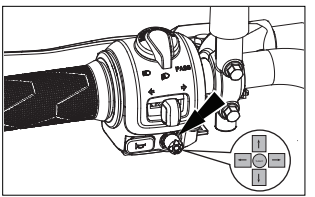


■ パッセンジャーシートとフレームの位置が合っていることを確認し、シートを押してキーを所定の位置にロックします。



ジョイスティック

■ ジョイスティックは上下左右方向への移動や選択のために使用します。



ジョイスティックを左に押したとき

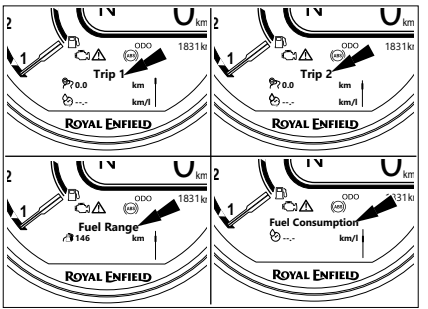
■ 以下の詳細がアドバンスダッシュボードに表示されます。

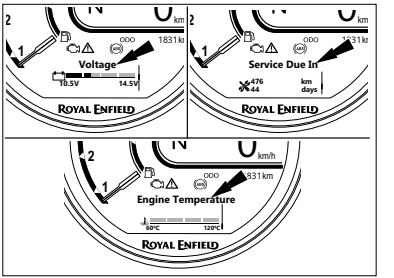
- ★ Trip 1
- ★ Trip 2
- ★ Fuel range
- ★ Instantaneous fuel consumption

- ★ Battery gauge
- ★ Service Due In
- ★ Engine temperature

■ 上記の詳細は設定メニューの my vehicle オプションでカスタマイズできます。

アナログスクリーンの場合





■ 最初の詳細からジョイスティックを右に押すとホーム画面に戻ります。

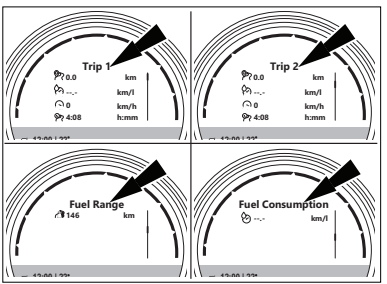
■ ホーム画面はアドバンストダッシュボード内の最初のオプションからのみ切り替えることができます。

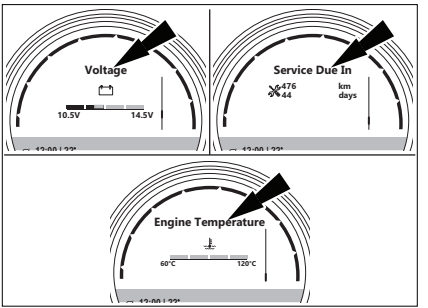
備考

■ 図に示すように、バッテリー ゲージには 4 つのセグメントがあり、各セグメントには 1 V が流れます。

- 例：2 つのセグメントが完全に埋まっている場合、バッテリー電圧は 12.5 V です。3 つのセグメントが半分埋まっている場合、13 V と表示されます。
- 同様に、温度計には図のように 4 つのセグメントがあり、各セグメントは 15° C を表します。
- 例：2 つのセグメントが完全に満たされている場合、ゲージは 90° C と表示され、3 つのセグメントまでが半分満たされている場合は 98° C（おおよそ）と表示されます。

デジタルスクリーンの場合





燃料が無くなるまでの距離

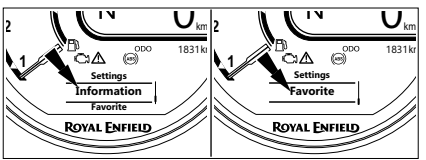
- 燃料警告灯が点灯し始めたときに車両が走行できる距離を示す機能です。
- 燃料ゲージに燃料警告灯が点灯するとクラスターにこれが表示され始めます。

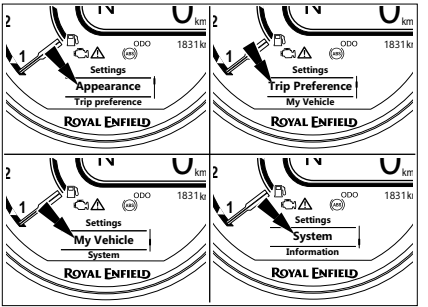
ジョイスティックを上に押したとき

■ 以下の設定オプションが利用可能です。

1. Appearance
2. Trip preference
3. My vehicle
4. System
5. Information
6. Favorite Apps

■ 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。





1. APPEARANCE

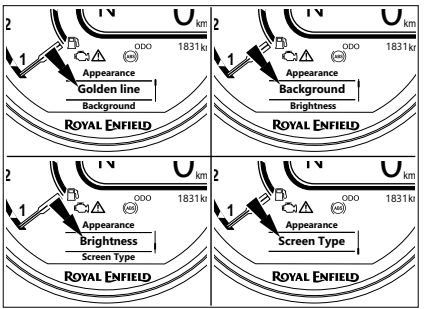
■ 設定メニューの中央から appearance を選択した状態でジョイスティックを押してオプションを確認します。

■ 画面に以下のオプションが表示されます。

i. Golden line

ii. Background
iii. Brightness
iv. Screen type

■ オプションはジョイスティックを上下に押して移動し、ジョイスティックの中央を押して選択します。



■ 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。

i. Golden line（ゴールデンライン）

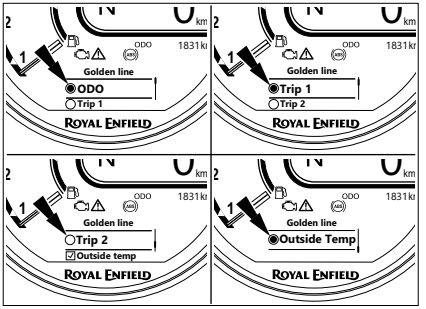
■ ゴールデンラインオプションを選択した状態でジョイスティックを中央に押すと、TFT 画面のゴールデンラインの隣に表示される詳細が開きます。

■ ディスプレイに以下のオプションが表示されます。

★ ODO
★ Trip 1
★ Trip 2
★ Outside temperature

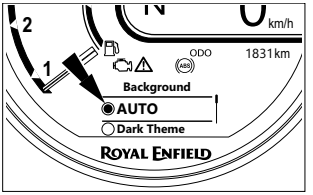
■ オプションはジョイスティックを上下に押して移動し、ジョイスティックの中央を押して選択します。

■ 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。



ii. Background（背景）

- Background オプションを選択した状態でジョイスティックの中央を押すとインストゥルメントクラスターの background テーマが変更されます。
- 利用可能なオプションは Auto と dark の 2 種類です。



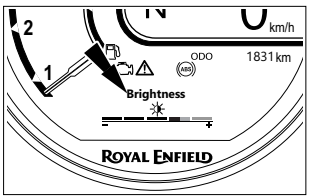
- オプションはジョイスティックを上下に押して移動し、ジョイスティックの中央を押して選択します。
- 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。

備考

デフォルトでは auto（昼間は light、夜間は dark）になっています。
Dark はアナログとデジタル、両方のスクリーンタイプに適用できます。

iii. Brightness（明るさ）

- Brightness オプションを選択した状態でジョイスティックの中央を押すと、インストゥルメントクラスターの明るさが変更されます。
- ジョイスティックを右に押すと明るくなり、左に押すと暗くなります。
- 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。

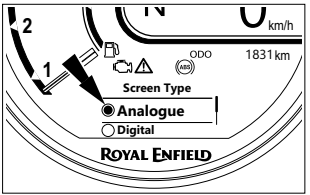


備考

明るさは dark でのみ調整できます。

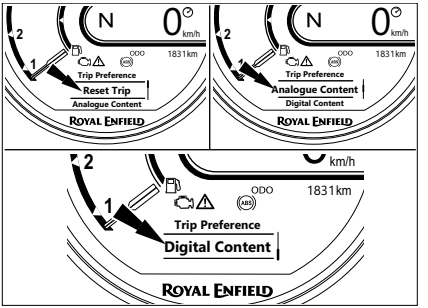
iv. Screen type（スクリーンタイプ）

- screen typeオプションを選択した状態でジョイスティックの中央を押すと、インストゥルメントクラスターのスクリーンタイプが変更されます。
- アナログスクリーンとデジタルスクリーンの2種類があります。
- デフォルトのスクリーンはアナログです。
- オプションはジョイスティックを上下に押して移動し、ジョイスティックの中央を押して選択します。
- 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。
- 右側スイッチキューブのモードボタンを長押しするとスクリーンをアナログからデジタルに切り替えることができます。



2. TRIP PREFERENCE (TRIPの設定)

- 設定メニューの中央から trip の設定を選択した状態でジョイスティックを押してオプションを確認します。
- Trip の設定メニューでは以下のオプションが利用できます。
  i. Reset trip
  ii. Analogue content
  iii. Digital content

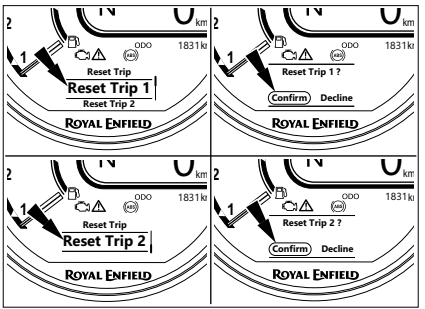


- オプションはジョイスティックを上下に押して移動し、ジョイスティックの中央を押して選択します。
- 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。

制御操作

i. Reset trip（tripのリセット）

- Tripをリセットするには tripのリセットオプションを選択した状態でジョイスティックの中央を押します。
- 利用可能なオプションは、trip 1のリセットとtrip 2のリセットの2種類です。

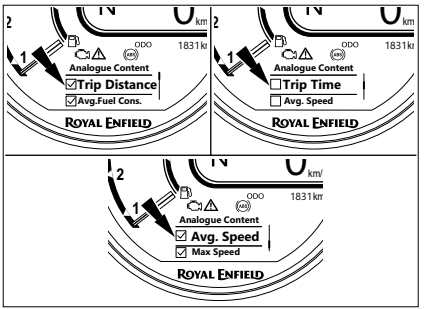


- オプションはジョイスティックを上下に押して移動し、ジョイスティックの中央を押して選択します。
- Reset trip 1 またはreset trip 2のいずれかを選択するとリセットの確認ポップアップが表示されます。
- 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。

ii. Analogue content（アナログコンテンツ）

- Analogue content オプションを選択した状態でジョイスティックの中央を押して、オプションを確認します。
- 以下のオプションが利用可能です。
  - ★ Trip distance
  - ★ Average fuel consumption
  - ★ Trip time
  - ★ Average speed
  - ★ Max speed

- オプションはジョイスティックを上下に押して移動し、ジョイスティックの中央を押して選択します。
- 上記のオプションのうち2つがアナログスクリーンに表示されます。



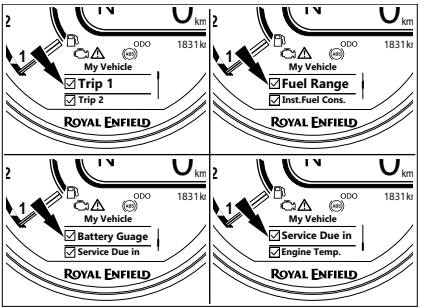
- 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。

iii. Digital content（デジタルコンテンツ）

- Digital content オプションを選択した状態でジョイスティックの中央を押して、オプションを確認します。
- 以下のオプションが利用可能です。
  - ★ Trip distance
  - ★ Average fuel consumption
  - ★ Trip time
  - ★ Average speed
  - ★ Max speed
- オプションはジョイスティックを上下に押して移動し、ジョイスティックの中央を押して選択します。
- 上記のオプションのうち4つがデジタルスクリーンに表示されます。
- 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。

3. MY VEHICLE（マイビークル）

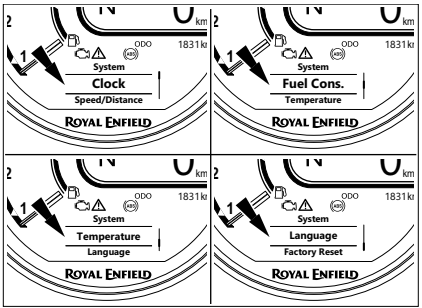
- My vehicle オプションを選択した状態でジョイスティックの中央を押して、オプションを確認します。
- My vehicle メニューでは以下のオプションが利用可能です。
  - ★ Trip 1
  - ★ Trip 2
  - ★ Fuel range
  - ★ Instantaneous fuel consumption
  - ★ Battery gauge
  - ★ Service Due In
  - ★ Engine temperature
- アドバンスダッシュボードに表示されるコンテンツはライダーの好みに基づいて my vehicle メニューをカスタマイズできます。



- オプションはジョイスティックを上下に押して移動し、ジョイスティックの中央を押して選択します。
- 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。

4. SYSTEM（システム）

- My vehicle オプションを選択した状態でジョイスティックの中央を押して、オプションを確認します。
- System メニューでは以下のオプションが利用可能です。
  - i. Clock
  - ii. Speed/Distance
  - iii. Fuel consumption
  - iv. Temperature
  - v. Language
  - vi. Factory reset
- オプションはジョイスティックを上下に押して移動し、ジョイスティックの中央を押して選択します。
- 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。

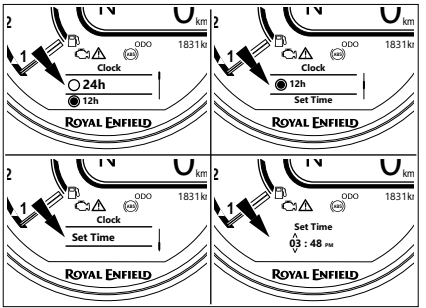


i. Clock（時計）

- Clockオプションを選択した状態でジョイスティックの中央を押して、オプションを確認します。
- Clock メニューでは以下のオプションが利用可能です。
  - ★ 24H

★ 12H

★ Set time



■ オプションはジョイスティックを上下に押して移動し、ジョイスティックの中央を押して選択します。

■ 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。

備考

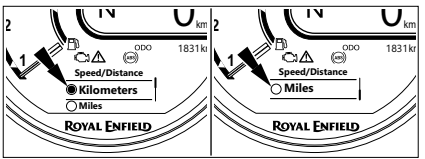
携帯電話が車両に接続されている時はライダーの好みに応じて時間表示（24時間表示と12時間表示）のみを選択できます。携帯電話が車両に接続されていない場合は、すべてのオプション（24 時間表示、12 時間表示、時刻設定など）が選択できます。

■ 時間設定オプションはジョイスティックを上下左右に押すことで時間を調整できます。

■ ジョイスティックを上下に押すと時間、分、および時刻の形式の値を増減できます。ジョイスティックを左右に押すと、時間、分、および時刻の形式の選択を切り替えます。

ii. Speed/Distance（スピード/ディスタンス):

- Speed/distance　オプションを選択した状態でジョイスティックの中央を押して、オプションを確認します。
- メニューでは以下のオプションが利用可能です。
  - ★ Kilometers
  - ★ Miles
- オプションはジョイスティックを上下に押して移動し、ジョイスティックの中央を押して選択します。
- 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。

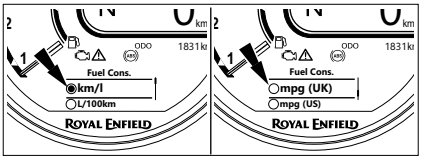


iii. Fuel consumption（燃料消費量）

- Fuel consumption オプションを選択した状態でジョイスティックの中央を押して、オプションを確認します。
- メニューでは以下のオプションが利用可能です。
  - ★ km/l
  - ★ L/100 km
  - ★ mpg (UK)
  - ★ mpg (US)
- オプションはジョイスティックを上下に押して移動し、ジョイスティックの中央を押して選択します。
- 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。

備考

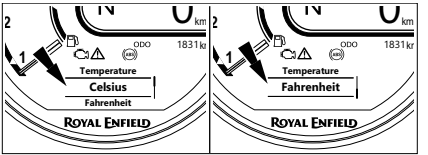
Speed/distance が km 単位の場合、km/l または L/100 km のいずれかのオプションが選択可能になり、残りのオプションはグレー表示になります。



Speed/distance が km（in mpg）でない場合、mpg（UK）または mpg（US）のいずれかのオプションが選択可能になり、残りのオプションはグレー表示になります。

iv. Temperature（温度）

- Temperatureオプションを選択した状態でジョイスティックの中央を押して、オプションを確認します。
- メニューでは以下のオプションが利用可能です。
  - ★ Celsius（摂氏）
  - ★ Fahrenheit（華氏）
- オプションはジョイスティックを上下に押して移動し、ジョイスティックの中央を押して選択します。



- 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。

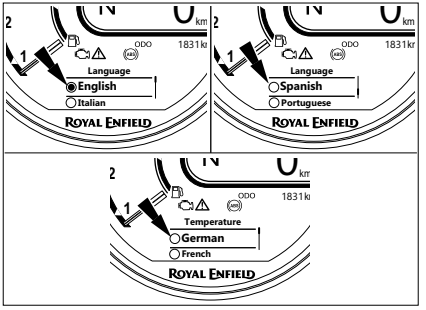
v. Language（言語）

- Language オプションを選択した状態でジョイスティックの中央を押して、オプションを確認します。
- メニューでは以下のオプションが利用可能です。
  - ★ English
  - ★ Italian
  - ★ Spanish
  - ★ Portuguese

★ German

★ French

■ オプションはジョイスティックを上下に押して移動し、ジョイスティックの中央を押して選択します。

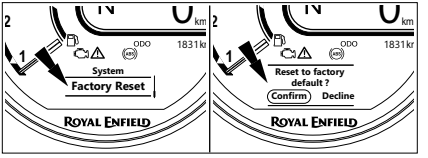


■ 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。

vi. Factory reset（ファクトリーリセット）

■ Factory reset オプションを選択した状態でジョイスティックの中央を押すと、すべての設定がリセットされます。

■ 確認ポップアップがディスプレイに表示されます。

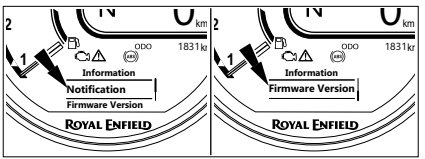


■ 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。

5. INFORMATION（インフォメーション）

■ 設定メニューの中央から information を選択した状態でジョイスティックを押してオプションを確認します。

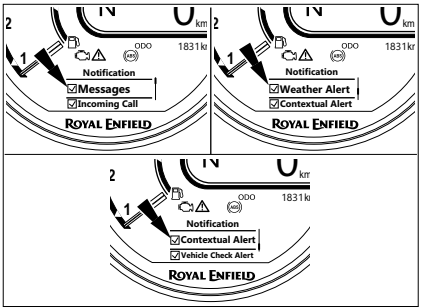
■ System メニューでは以下のオプションが利用可能です。
  i. Notification
  ii. Firmware version
■ オプションはジョイスティックを上下に押して移動し、ジョイスティックの中央を押して選択します。



■ 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。

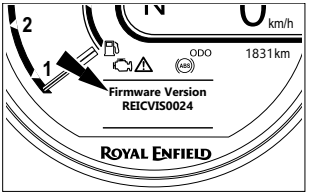
i. Notification (通知)

■ Notification オプションを選択した状態でジョイスティックの中央を押して、オプションを確認します。
■ メニューでは以下のオプションが利用可能です。
  ★ Messages（メッセージ）
  ★ Incoming call（着信）
  ★ Weather alerts（ウェザーアラート）
  ★ Contextual alert（コンキテクシャルアラート）
  ★ Vehicle check alert（ビークルチェックアラート）
■ オプションはジョイスティックを上下に押して移動し、ジョイスティックの中央を押して選択します。
■ 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。



ii. Firmware version（ファームウェアバージョン）

- Firmware version オプションを選択した状態でジョイスティックの中央を押すと、インストゥルメントクラスターの現在のファームウェアバージョンが表示されます。
- 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。



6. FAVORITES（お気に入り）

- 設定メニューの中央から favorite アプリのオプションを選択した状態でジョイスティックを押して、オプションを確認します。
- System メニューでは以下のオプションが利用可能です。
  - i. Navigation
  - ii. Music
  - iii. Android call or phone

iv. Android message
v. Compass

- オプションはジョイスティックを上下に押して移動し、ジョイスティックの中央を押して選択します。
- 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。
- QR コードを読み取りダウンロード、インストール、登録を行い、TFT クラスターのモバイル接続情報の詳細を確認してください。



REモバイルアプリが利用いただけるスマートフォン対応バージョン:

- Android: 当アプリがサポートしているミニマムバージョンは現行の Android OS より 2 バージョン前。
- iOS: サポートしているミニマム iOS バージョンは現行の iOS リリースより 1 バージョン前。

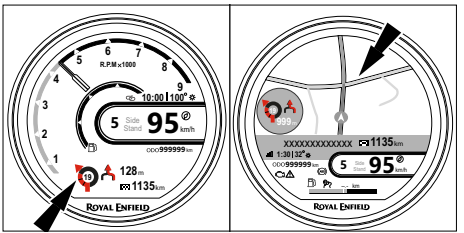
備考

- 車両と携帯電話の接続が無効になっている場合は favorite 機能も無効になります。
- Huawei の携帯電話は当社のアプリと互換性がないためサポート提供していません。

制御操作

i. Navigation

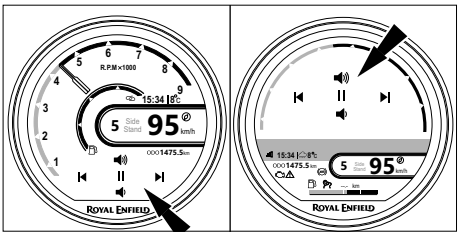
- Navigation オプションを選択した状態でジョイスティックの中央を押して、オプションを確認します。
- オプションはジョイスティックを上下に押して移動し、ジョイスティックの中央を押して選択します。



- 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。

ii. Music

- Music オプションを選択した状態でジョイスティックの中央を押して、オプションを確認します。
- オプションはジョイスティックを上下に押して移動し、ジョイスティックの中央を押して選択します。



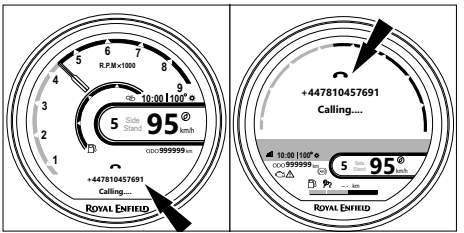
- 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。

備考

IoS の場合は Apple Music のみ機能します。

iii. Android Call or Phone

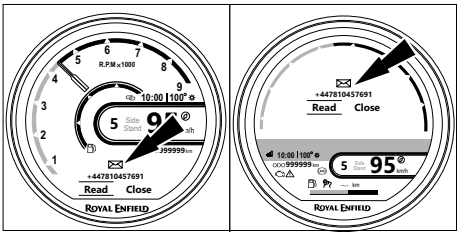
- Phoneオプションを選択した状態でジョイスティックの中央を押して、オプションを確認します。
- オプションはジョイスティックを上下に押して移動し、ジョイスティックの中央を押して選択します。



- 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。

iv. Android Message

- Messageオプションを選択した状態でジョイスティックの中央を押して、オプションを確認します。
- オプションはジョイスティックを上下に押して移動し、ジョイスティックの中央を押して選択します。



- 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。

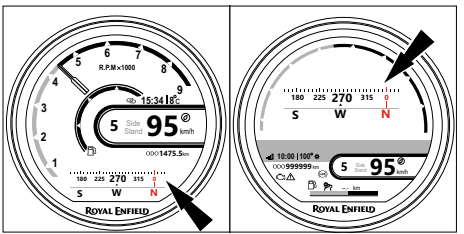
備考

IoS の場合、call and message はサポートしていません。

制御操作

v. Compass

- Compassオプションを選択した状態でジョイスティックの中央を押して、オプションを確認します。
- オプションはジョイスティックを上下に押して移動し、ジョイスティックの中央を押して選択します。

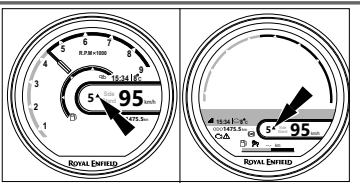


- 戻るには左側スイッチキューブのホームボタンを押します。

備考

Compass アクティブナビゲーションがある場合にのみ機能します。

ギアアップインジケーター



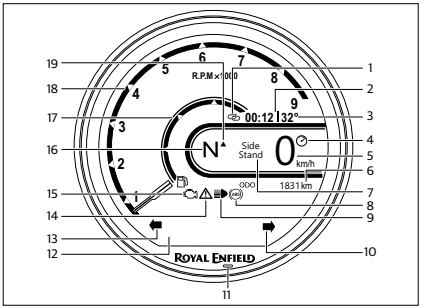
- ギアアップシフトインジケーターは、燃費を向上させるためにライダーにギアをシフトアップするようアドバイスする機能で、Gear 対 rpm 対 Tps センサー信号入力に基づいて反応します。
- 赤で囲まれた領域に示すように、ディスプレイのギア ポジション インジケーターの隣にシフト アップ インジケーターがポップアップ表示されます。
- シフトアップするとシフトアップインジケーターが消灯します。

備考

この機能は、車両が動的状態にある場合にのみディスプレイに表示されます。

インストゥルメントクラスター

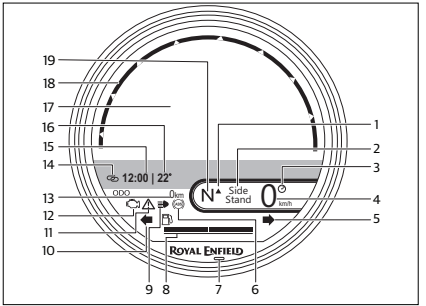
アナログタイプ



1. モバイル接続表示
2. リアルタイムクロック（RTC）
3. 外気温
4. 走行モード
5. 速度インジケーター（km/ マイルを選択できます）
6. 走行距離計（km/ マイルを選択できます）
7. サイド スタンドインジケーター
8. ABS 警告灯
9. ハイビームインジケーター
10. 右折インジケーター
11. アンビエントセンサー
12. ホームスクリーン
13. 左折インジケーター
14. 全般的な警告表示
15. エンジン警告灯
16. ギア表示
17. フューエルバーゲージ
18. エンジン RPM ゲージ
19. ギアアップインジケーター

制御操作

デジタルタイプ

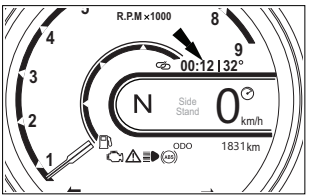


1. ギアアップインジケーター
2. サイド スタンドインジケーター
3. 走行モード
4. 速度インジケーター（km/ マイルを選択できます）
5. 右折インジケーター
6. ABS 警告灯
7. アンビエントセンサー
8. フューエルバーゲージ
9. ハイビームインジケーター
10. 左折インジケーター
11. 全般的な警告表示
12. エンジン警告灯
13. 走行距離計（km/ マイルを選択できます）
14. モバイル接続表示
15. リアルタイムクロック（RTC）
16. 外気温
17. ホームスクリーン
18. エンジン RPM ゲージ
19. ギア表示

制御操作

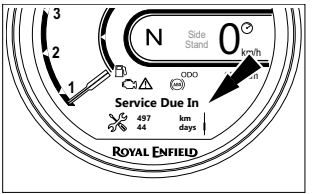
時計

- 24 時間形式で表示します。
- バッテリーが取り外されると　00:00　にリセットされます。



サービスリマインダー

- サービスリマインダーシンボルが ON になりましたら認定サービスディーラーで定期メンテナンスを受けてください。
- サービス リマインダーはメンテナンス完了後、認定サービス ディーラーのみがリセットできます。

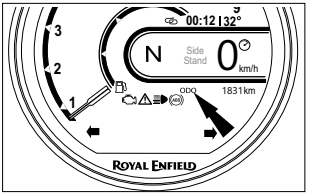


- オドメーターが表示した以下の距離に応じてサービスリマインダーシンボルが点滅します。
  i). 1st service – 450 km または 279.6 マイル
  ii). 2nd service – 4,900 km または 3044.7 マイル
  iii). それ以降は前回の値から 5,000 km または 3106.8 マイル毎（例： 9,900 km または 6151.5 マイル、14,900 km または 9258.4 マイルなど）

制御操作

オドメーター

■ 車両が走行した累計距離数を表示します。

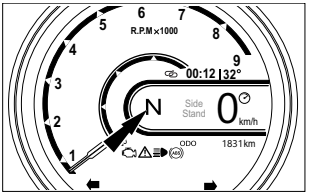


ギアポジションインジケーター

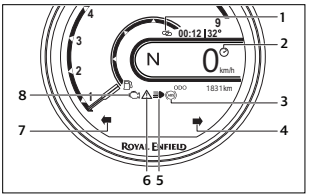
■ 車両が走行しているギアの位置を表示します。

■ ニュートラルのときは「N」と表示されます。

■ ギアが入っているときは 1 ～ 6 の適切な数字が表示されます。



TELL TALES



- **(1) モバイル接続シンボル –** モバイルの接続と切断の表示を示します。
- **(2) 走行モード –** 車両の走行状態に応じて performance モードと ECO モードの表示の両方を見ることができます。
- **(3)ABS –** 初期点検中（車両が一定の距離 / 速度で走行するまで、または走行した後 ）は継続的に点灯し、システムに問題がなければ消灯し、ABS システムに不具合がある場合は再び点灯します。
- **(4) 右折 –** 右折ターンシグナルを ON にする。
- **(5) ハイビームインジケーター –** ヘッドランプハイビームが点灯します。
- **(6) 警告灯 –** 車両コンポーネントに故障が発生するとこのインジケーターが点灯します。
- **(7) 左折 –** 左折ターンシグナルを ON にする。
- **(8) エンジン警告灯 –** EMS 故障の場合は継続的に ON になります。

備考

- エンジン始動後、警告灯は「OFF」になります。

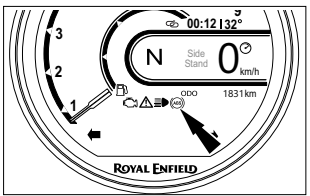
注意

- 故障が継続して「ON」のままの場合は ECU とセンサーに重大な損傷を与える可能性があるため車両を運転しないでください。EMS の欠陥を診断して修理するには最寄りの Royal Enfield 認定 s サービスディーラーにご相談ください。
- ABSインジケーターランプが点灯したままの場合は車両を走行させないでください。

制御操作

ABSインジケーターランプ

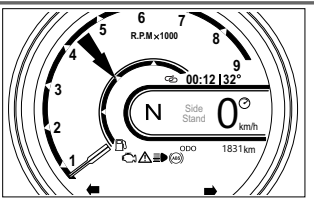
■ イグニッションとエンジンキルスイッチが「ON」の位置になっているとABSサインが点灯し、車両の速度が5 km/h (3.1 mph) に達するまで「ON」のままになり、その後「OFF」になります。ABSシステムに不具合がある場合は再度点灯します。



注意

■ ABSインジケーターランプが5 km/h (3.1 mph) を超えて継続的に「ON」になっている場合は車両を走行させないでください。

燃料ゲージ



■ 4セグメントのバーグラフデジタル。

■ 燃料不足状態の場合、最後のセグメントが点滅し、燃料警告灯が点灯します。

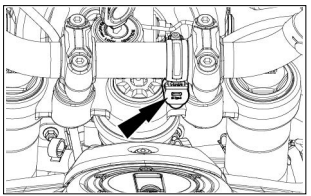
警告

■ 最後のセグメントの燃料表示が点滅している状態で車両を長時間使用しないでください。できるだけ早く燃料を給油してください。

■ これを怠ると燃料ポンプに重大な損傷が発生するだけでなく、車両の燃料がなくなり動けなくなってしまいます。

充電ポート

■ 充電ポートはハンドルバーの中央部にあります。



警告

■ 携帯電話や充電器の損傷を避けるため、雨天時に使用しないことをお勧めします。当社は携帯電話のいかなる損傷についても責任を負いません。
■ 携帯電話以外のデバイスを使用しないでください。一度に充電できる携帯電話は 1 台のみです。
■ USBケーブルが正しく挿入されていることを確認してください。ケーブルの挿入が不適切または誤っていることによる損傷は保証の対象外となります。
■ 使用していないときはショートを防ぐため USB ポートキャップを開けたままにしたり半開閉の状態にしないでください。
■ ショートの原因となる可能性があるのでUSB充電ポート内に金属や導電性物質を挿し込まないしないでください。

備考

- 充電ポートは充電目的のみに提供されており、データ転送はできません。
- 一定速度での充電モードのみが提供されており複数のメーカーの携帯電話と互換性のある急速充電モードは提供されておらず、純正の充電器の性能と比較することはできません。
- 充電時間は携帯電話のバッテリー容量、SOC、および携帯電話の充電回路、携帯電話のメーカーによって異なる場合があり、長くなる場合があります。

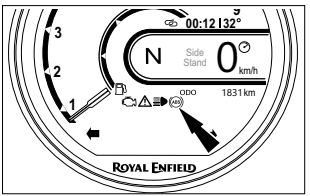
注意

- お客様が使用していないときに USB ポートキャップが適切に閉じられ、ロックされていることを確認してください。ポートキャップが破損し適切に密閉されていない場合、保証は適用されません。
- 2.5 Aを超える高電流が流れた場合、USB充電器はシャットダウンします。使用前に携帯電話のバッテリー定格電流を確認してください。
- USB　充電器はエンジンが作動しているときのみ機能します。
- 正常に機能させるには規格認証済みの高品質のUSBケーブルをご使用してください。

警告表示と安全システム

アンチロックブレーキシステム(ABS)

■ アンチロックブレーキシステム（ABS）は高速走行時や滑りやすい路面で急ブレーキをかけた際にブレーキが車輪をロックするのを防ぎます。これによりライダーは車両のトラクションとコントロールが向上し、事故の原因となる車両のスリップを防止できます。



■ ライダーが突然強くブレーキをかけた場合、ブレーキシステムのセンサーがABSモジュレーターに信号を送り油圧を瞬間的かつ継続的に下げることでブレーキが車輪をロックするのを防ぎ車両の速度を低下させます。これにより、ライダーは車両をコントロールしやすくなります。

■ ABSに何らかの不具合が発生した場合、ライダーに警告するためにクラスター内にABSインジケーターランプが装備されています（隣の画像を参照）。

■ イグニッションとエンジンキルスイッチが「ON」の位置になっていると、ABSサインが点灯し車両が5 km/hに達して「OFF」になるまで「ON」のままになります。これはABSが正常に機能していることを示します。ABSインジケーターランプが「OFF」にならず、高速でも「ON」のままである場合は、車両を運転しないでください。最寄りのRoyal Enfield認定サービスディーラーでブレーキシステムを検査して修理してください。これを怠ると、重傷や死亡につながる可能性があります。

警告表示と安全システム

注意

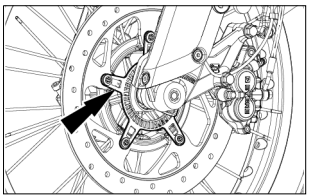
- ABSはパニック状態でブレーキをかけた際に車輪がロックするのを防ぐための安全機能です。決して予測制動の代わりになるものではありません。
- 特にコーナリング中は慎重に運転し、ブレーキを慎重にかけてください。ABS はコーナリング中のバイクの「重量移動」と運動量を予測できないためトラクションの損失によるスリップを防ぐことができません。
- 走行速度に応じた停止距離を予測し、車両を安全に停止させるために早めにブレーキをかけてください。
- インストゥルメントクラスターはABSシステムの不可欠な部分であるため、適切に機能していることを確認してください。
- 車両のトラクションとコントロールを向上させて停止するには、両方のブレーキを同時にかけてください。
- 上記を遵守しない場合、重大な傷害や死亡につながる事故が発生する可能性があります。

警告

- ABSが正しく作動するように、必ずRoyal Enfield純正のフロント / リアタイヤとリアスプロケットを使用してください。
- サスペンションを変更しないでください。
- ブレーキシステムには Royal Enfield が承認の推奨スペアパーツのみを使用してください。
- ABSは制動距離を短くしません。状況によってはABSにより制動距離が長くなる場合があります。

注意

■ フロントとリアのABSトナーリングの歯が損傷していないかを目視で検査。



■ 歯の表面に損傷や凹みがないか検査します。
■ 歯のエッジは外観が一貫していなければなりません。トナーリングに傷や曲がりがあった場合には、最寄りの認定サービスディーラーにご相談されることをお勧めします。
■ フロントとリアのホイールスピードセンサーの端にゴミがないか点検し、汚れが見つかった場合は適切に取り除くことをお勧めします。または、最寄りの認定サービスディーラーにて必要な措置を行ってください。

ロールオーバーセンサー

エンジンが作動しギアが噛み合った状態で車両がどちらかの方向へ転倒した場合、ロールオーバーセンサーが燃料システムを無効にし、エンジンをオフにします。これは車両とライダーへの損傷を防ぐためです。
ロールオーバーセンサーをリセットし、燃料システムを再起動します。

■ 車両が直立しセンタースタンドが立っていることを確認します。
■ ギアがニュートラルに入っていてインストゥルメントコンソールのニュートラルランプが点灯していることを確認します。
■ イグニッションとストップスイッチの両方をOFFにし、数秒待ってからイグニッションとストップスイッチを再度ONにしてエンジンを始動します。

警告表示と安全システム

すべきこと　すべきでないこと: (ABS)

すべきこと	すべきでないこと
■ エンジン始動後、ABS インジケーターが点灯し車速が 5 km/h (3.1 mph) を超えると消灯することを確認してください。 ■ フロントおよびリアブレーキリザーバー内のブレーキ液レベルとブレーキシステムに漏れがないことを確認してください。 ■ 効率を上げるために両方のブレーキを同時にかけてください。 ■ ABS インジケーターが点灯したままの場合は、最寄りの Royal Enfield 認定サービスディーラーに車両を持ち込み、ブレーキ システムを点検してください。	■ 緊急時にブレーキを強くかけたときに脈動を感じても、ブレーキ レバー/ペダルを放さないでください。脈動は ABS が作動していることを示しています。 ■ ブレーキの効率が悪くなる可能性があるため、フロントブレーキまたはリアブレーキのみの使用はしないでください。

運転前のチェック

乗車前、特に長期間保管後は必ず以下の点を慎重に点検し、追加のメンテナンスが必要かどうかを確認してください。

1. 走行予定に十分な燃料がタンクに入っている。
2. タイヤの空気圧が適切で、摩耗や切れ目がない。
3. チェーンの張り具合と潤滑油が十分であることを確認する。
4. ブレーキ、クラッチ、ステアリング、スロットルの応答性が適切である。
5. 前後のブレーキレバーがスムーズに操作でき、遊びがある。
6. エンジンオイルと冷却水のレベル。
7. ヘッドランプ、テールランプ、ブレーキランプ、方向指示器が正常に機能している。
8. インストゥルメントクラスターのすべての警告灯が正常に機能している。
9. マスターシリンダーのブレーキ液レベルが「MIN」マークを超えている。
10. クラッチの遊びとクラッチ機能を確認する。

警告

お客様の健康と安全のため上記のすべての事項を定期的に実行する必要があります。これを怠ると安全な操作に影響を及ぼし、車両が損傷し、重大な傷害や死亡事故につながる可能性があります。

慣らし期間

あなたが体験するRoyal Enfieldの車両は安定した高速走行が可能です。しかし、他の新しいバイクと同様に車両のさまざまな可動部品を適切に慣らし、その後のギアシフトなどの最適なパフォーマンスを実現するために「慣らし運転期間」の手順が不可欠です。

1. 規定の最大積載量を超えないでください。
2. 乗車前にエンジンオイルがエンジン内のすべての可動部品を潤滑できるように、アイドリング回転で数分間エンジンを暖めてください。
3. フルスロットル操作を避け、一定のスロットルで連続して運転しないでください。運転中は速度を 10% ずつ変えてください。
4. 適切な速度で運転し、急加速や急ブレーキを避けてください。
5. 1時間以上連続しての運転は避け、短時間の停止をお勧めします。

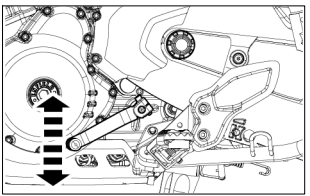
備考

以下の表はエンジンの最適なパフォーマンスを得るために推奨されるエンジン速度（rpm）を示しています。

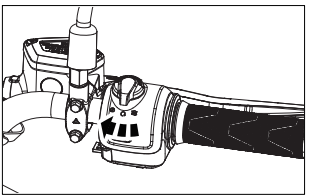
走行距離	最高エンジン回転数
0ー500km (0から311 miles)	6000rpm未満 フルスロットルは不可
501ー1500km (311から932 miles)	徐々に最大回転数まで上げます

始動

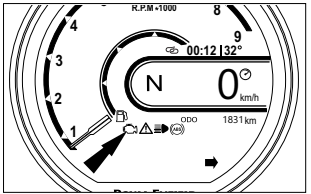
- ニュートラルにシフトするにはギアをシフトしながら車両をゆっくりと前後に動かします。ギアがニュートラル位置にありインストゥルメントクラスターのニュートラルランプが点灯していることを確認します。



- イグニッションキーを ON の位置に回し、右側のハンドルバーにあるエンジンキルスイッチを RUN の位置に回します。
- イグニッションスイッチとエンジンキルスイッチの両方が「ON」の位置にあり、車両を始動すると、エンジン警告灯が数秒間点灯してから「OFF」になります。これは電子燃料噴射（EFI）システムのすべての機能が正常に動作していることを示します。EFI システムに何らかの不具合が発生した場合、エンジン警告灯は点灯し続けます。



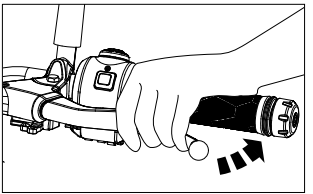
始動



注意

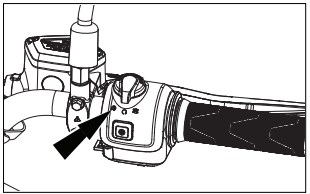
- 警告灯が消灯しない場合は Royal Enfield 認定サービスディーラーで車両を点検して修理を受けてください。
- クラスター内の燃料レベルインジケーターをチェックして燃料タンクに十分な燃料があるかどうかを確認してください。最後のバーが点滅し続ける場合はタンク内の燃料レベルが低いことを示しています。すぐに燃料を給油してください。

- クラッチレバーを引いてクラッチを切り、そのままの状態を保持します。



- エンジンが始動するまで電動スイッチを最大5秒間押し続けます。

始動



備考

- 5 秒以内にエンジンが始動しない場合は、スタータースイッチを放し、約 5 秒待ってから再度エンジンの始動を試みてください。
- 複数回連続して試しても車両が始動しない場合は、イグニッションスイッチを OFF にしてからあらためて ON にし、再度始動してください。

注意点

- 車両はサイドスタンドを立てた状態で始動できますが、ギアが噛み合うとエンジンは停止します。このサイドスタンドカットオフ機能は車両が移動/始動する前にサイドスタンドが格納されていることを確認してライダーの安全を確保するために用意されています。

注意

- エンジンが始動しない場合はスタータースイッチを長時間押したままにしないでください。バッテリーが 10 V の閾値を下回るまで放電してしまいます。Royal Enfield 認定サービスディーラーで車両を点検し、始動しない原因を特定して修理してください。

始動

- 特に冷えた状態ではエンジン始動後、すぐに加速しないでください。エンジンオイルが循環して内部の可動部品すべてを潤滑し、エンジン温度が上昇するように、エンジンは少なくとも120秒間はアイドリング回転数で運転する必要があります。この重要な情報を遵守しないとエンジン内部に重大な損傷が発生します。
- アイドリング回転数が安定して一定になった後にのみ加速してください。
- 加速ケーブルが損傷している場合は、右側モジュールキューブ全体を交換する必要があります。

警告

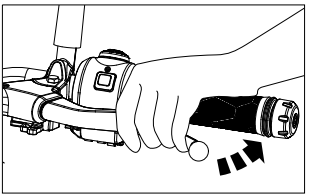
乗車する際は細心の注意を払ってください。注意を怠ると事故が発生し、ご自分や他の道路利用者 / 通行人が負傷する可能性があります。

- ギアがニュートラル位置にあり、スピードメーターのニュートラルランプが点灯していることを確認します。ニュートラルにシフトするにはギアをシフトしながらバイクをゆっくりと前後に動かします。

注意

ギア機構を損傷する恐れがあるため、車両を前後に動かさずにギアをシフトしないでください。

- クラッチレバーを握ったままにします。
- スターターボタンを押し、エンジンが始動するまで押し続けます。エンジンが始動する前にボタンを放さないでください。



- 3 回連続でクランキングした後はスターターボタンを 5 秒以上押さず、バッテリーが回復するまで 15 ～ 20 秒待ちます。

ギアシフト、運転、停止

ギアシフトを試みる前にクラッチレバーを完全に握る必要があります。クラッチレバーを完全に握らないとトランスミッション部品が損傷するだけでなく、エンジンが始動しにくくなったり、エンジンストールしたりします。

■ 車両がニュートラル位置にあるときに、ギアシフトレバーをつま先で押し下げて 1 速ギアを入れます。
ギアシフトパターン
1 -- N -- 2 -- 3 -- 4 -- 5 -- 6

半クラッチの使用パターン：

低速（<10 km/h）でスムーズな制御を維持するにはエンジンが停止するのを防ぐために、スロットルを操作しながらクラッチを部分的に接続（半クラッチ）することをお勧めします。半クラッチで保持するときはクラッチ部品の過度の摩耗や損傷を防ぐためにギアを 1 速にしてエンジン回転数を低くする必要があります。

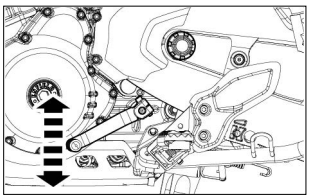
■ 2 速以上の低速で半クラッチで保持するには、クラッチを繋いだときにエンジンストールするのを防ぐためにエンジンの回転数を高くする必要がありますが、これによりクラッチの「滑り」が増加し、クラッチ部品の早期摩耗につながる可能性があります。
■ あるギアから別のギアにシフトした後、クラッチは徐々に（ゆっくりではなく）接続します。
■ 可能な限り適切なギアのみでクラッチを完全に切断した状態で車両を使用するとクラッチの寿命が長くなります。

推奨シフトアップ速度		
ギアチェンジ	km/h	mph
1速 - 2速	20	12.4
2速 - 3速	30	19
3速 - 4速	40	25
4速 - 5速	60	37.2
5速 - 6速	75	47

推奨シフトダウン速度		
ギアチェンジ	km/h	mph
6速 - 5速	70	43.4
5速 - 4速	55	34.1
4速 - 3速	35	22
3速 - 2速	25	16
2速 - 1速	18	11.1

原因

■ クラッチレバーを急に離しスロットルの開きが不十分だと、車両は始動が悪くなりエンジンが停止してしまいます。



■ エンジンが高回転でクラッチレバーが急に離されると、車両が突然動き出し、制御不能に陥って事故につながり、車両の損傷だけでなく、ライダー、他の道路利用者、歩行中の人が負傷したり死亡したりする恐れがあります。

ギアシフト、運転、停止

- クラッチを繋ぐときは常に細心の注意を払ってください。
- 推奨されるシフトアップおよびシフトダウンの速度に従ってください。

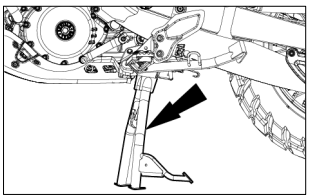
備考

- 必ずギアをニュートラルの状態で車両を始動してください。
- 車両は常に 1 速の位置で発進してください。
- エンジン回転数が低下したとき、または登坂中や低速で走行しているときはエンジンが停止したりしないように適切な低いギアにシフトしてください。
- クラッチレバーを完全に握りスロットルを調整し、推奨されるギアシフト速度に従ってすぐに次のギアにシフトする必要があります。
- 上記に従わない場合、トランスミッション部品の損傷を引き起こすだけでなく、エンジンの始動不良やエンジンストール、不適切なギアシフトを引き起こす可能性があります。
- 車両を完全に停止させる直前にギアをニュートラル位置にシフトしてください。
- スロットルを完全に閉じクラッチレバーをゆっくりと離してギアがニュートラル位置にあり、ニュートラルランプが点灯していることを確認します。
- 車両を安全な場所に停車し、イグニッションをOFFにして、エンジンキルスイッチを OFF にします。
- 急な坂道や長い下り坂を走行する際は、効果的なブレーキをかけるためにエンジンブレーキと断続的なブレーキを併用することをお勧めします。エンジンブレーキは現在のギアからギアをシフトダウンすることで車両を減速させることができます。

駐車

センタースタンドで車両を駐車する

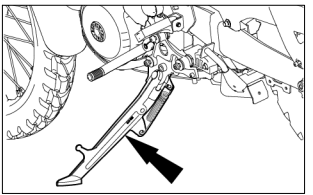
- 車両を直立した状態で駐車してください。
- ハンドルバーをまっすぐな位置にします。
- センタースタンドを下げて、スタンドの両脚がしっかりとした地面に接するようにします。



- センタースタンドの支点レバーに力を加えて車両を後方に引きます。
- キーをイグニッションバレルから抜く前にステアリングをロックし、ハンドルバーがしっかりとロックされていることを確認してください。

サイドスタンドで車両を駐車する

- 車両を直立した状態で駐車してください。
- サイドスタンドを立てます。車両を地面にしっかりと接地されるまで左側に傾けます。



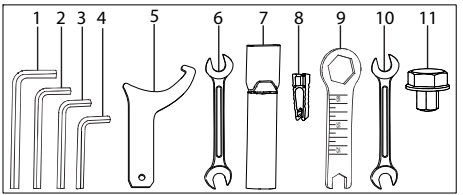
駐車

警告

- 乗車前に、両方のスタンドが完全に収納されていることを確認してください。
- 車両が倒れて自分や他人が怪我をしたり車両の部品が損傷したりしないように、駐車時には細心の注意を払い、しっかりとした平坦な場所に駐車してください。
- サイドスタンドは車両の重量のみを支えるように設計されています。サイドスタンドを立てているときは車両に座らないでください。サイドスタンドやフレームが損傷し、車両が倒れる恐れがあります。

ツールキット

ツールキットはパッセンジャーシートの下に固定されています。



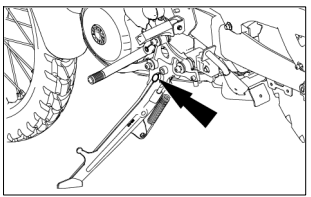
シリアル番号	説明	数量
1	六角レンチ 8 mm	1
2	六角レンチ 6 mm	1
3	六角レンチ 5 mm	1
4	六角レンチ 4 mm	1
5	Cスパナ	1
6	両端スパナ 10 x 13	1
7	エクステンションチューブ	1
8	ヒューズ プーラー	1
9	リングスパナ 24 x 14 コンビネーション	1
10	両端スパナ 12 x 16	2
11	フロントスピンドルアダプター	1

メンテナンスに関する簡単なヒント

以下の簡単なメンテナンス作業は車両のメンテナンスに役立ちます。ただし、複雑なメンテナンスが必要な場合はRoyal Enfield認定サービスディーラーに問い合わせることをお勧めします。

ハンドレバー、センタースタンドピボット、サイドスタンドピボット

- ピボットポイントを清掃し、汚れ、ほこり、錆などがないことを確認します。
- ピボットに潤滑油を差します。

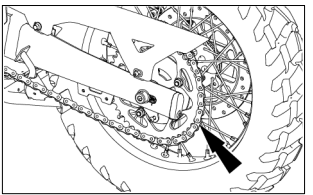


備考

汚れが蓄積しないように、余分な潤滑剤を拭き取ってください。

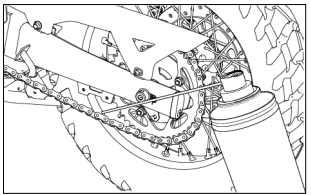
ドライブチェーン

- 後輪を回転させながらドライブチェーンに推奨チェーン洗浄溶剤をスプレーします。



- ドライブチェーンが洗浄溶剤で十分に完全に覆われていることを確認します。必要に応じて適切なブラシを使用してチェーンから固い堆積物を取り除きます。

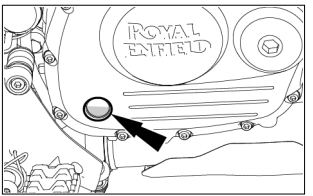
メンテナンスに関する簡単なヒント



- 数分間待ってからチェーンの汚れなどを徹底的に除去します。
- 後輪をゆっくり回転させながら、同時にチェーンリンクに推奨チェーン潤滑剤を塗布します。
- 数分後、余分なチェーン潤滑剤をきれいな布で拭き取ってください。

エンジンオイルレベルチェック

- 車両を水平な場所に直立させます。
- エンジンを冷間状態から始動し、2 ～ 3 分間アイドリングしてからエンジンを停止します。
- オイルが落ち着くまで 2 ～ 3 分待ち、サイトグラスを確認します。最小レベルから最大レベルまで追加される量は約 350 ml です。
- エンジンオイルレベルは「MAX」の状態に近いはずです。



- オイルレベルが上記の状態にない場合はオイルを「MAX」状態まで補充し、手順を繰り返します。
- クラッチ機能に影響を与える可能性があるため「MAX」マークを超えての過剰充填はしないでください。

メンテナンスに関する簡単なヒント

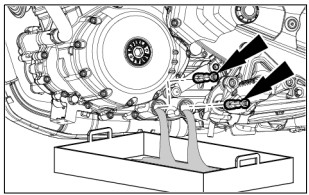
エンジンオイルドレン/ストレーナーチェック

- 車両が地面に対して真っ直ぐな位置にあることを確認します。
- エンジン オイルは、オイルがより早く排出されるように必ずエンジンが十分に暖まったときに排出してください。
- サンプガードと 2 本のプラグを取り外し、2 つのストレーナーを清掃します。
- ストレーナーの状態を確認し、問題がなければ再利用してください。

備考

O-RING は再利用せず、すべての O-RING を交換してください。

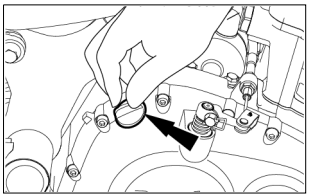
- ストレーナーと O-RING にエンジンオイルを塗布します。
- ドレンプラグを挿入する前にストレーナーを手でクランクケースに完全に押し込みます。
- プラグの O-RING に水性潤滑剤を塗布します。
- ドレンプラグを 13±1Nm のトルクで締めます。



オイル交換のオイル充填

- 車両が地面に対して真っ直ぐな位置にあることを確認します。
- フィラーキャップと O-RING の両方を取り外します。
- エンジンにオイルを追加し、オイルレベルがサイトグラスの「MAX」マークに達するまでオイルを充填します。
- フィラーキャップを取り付けます。エンジンを冷間状態から始動し、1 ～ 2 分間運転します。
- エンジンを切って 1 分ほど待ちます。

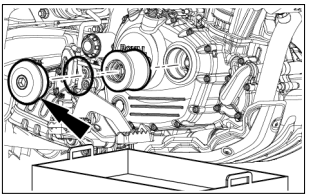
メンテナンスに関する簡単なヒント



- オイルレベルがサイトグラスの「MIN」と「MAX」の間にあることを確認します。
- そうではない場合はオイルレベルをサイトグラスの「MIN」と「MAX」の間になるように補充してください。
- 指定された量の新しいエンジンオイル2.1Lを補充します。

オイルフィルター交換

- O-RING　とスプリング付きのオイルフィルターカバーを14mm 六角レンチを使用して取り外します。
- オイルフィルターを取り外して廃棄します。

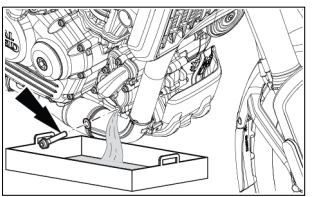


- オイルフィルターハウジングからオイルを排出します。
- カバーと O-RING シール面を徹底的に清掃してください。
- 新しいオイルフィルターを取り付けます。O-RING を使用し、フィルター カバー内の O-RING に水性潤滑剤を塗布します。
- カバーを取り付け、スプリングがカバー内に保持されるように 22±2 Nm で締めます。

メンテナンスに関する簡単なヒント

クーラントドレン

- 必要に応じてサンプガードを取り外します。
- ラジエーターのクーラントフィラーキャップとエキスパンションタンクのキャップを外します。



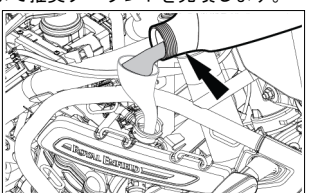
- ウォーターポンプのクーラントドレンボルトを取り外します。
- 排出したら銅ワッシャーを新しい部品と交換し、ボルトを10±2 Nm で締めます。
- ラジエーターへの小さなホースを外してエキスパンションタンク内のクーラントを排水し、その後ホースを再度取り付けます。

クーラント充填/エア抜き

警告

エンジンが熱いときは絶対にラジエーターキャップを開けないでください。圧力が解放されるとクーラントが沸騰して膨張し始める可能性があります。沸騰したクーラントがフィラーネックまたはリザーバーから噴き出し重度の火傷を引き起こす可能性があります。

- 車両が地面に対して真っ直ぐな位置にあることを確認します。
- ラジエーターのプレッシャーキャップを外し、フィラーネックまで推奨クーラントを充填します。

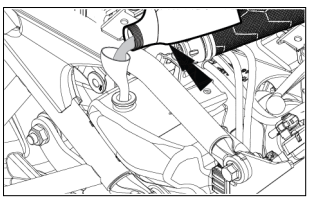


- エア抜きを行ってください。

メンテナンスに関する簡単なヒント

★ エンジンからラジエーターまでのホースの両方を軽く叩きます。
★ 車両を左側に約 45 ～ 60 度の角度に傾け、次に右側に傾けます。
★ クーラントレベルが下がっている場合は、フィラーネックのレベルまでクーラントを補充してください。

■ フィラーネックのレベルが下がらなくなるまで上記の手順を繰り返します。
■ ラジエータープレッシャーキャップが正しく取り付けられ、時計回りに完全に締められていることを確認して再度取り付けます。



■ ラジエーターエキスパンションタンクのキャップを外し、タンクの上限レベルラインまでクーラントで満たします。
■ ラジエーターエキスパンションタンクのキャップを交換します。
■ エンジンをニュートラルで始動します。
■ エンジンをアイドリングで 5 分間運転します。
■ スロットルを 3 ～ 4 回ブリップします。
■ エンジンを停止し、冷やしてください。
■ 必要に応じて、エキスパンションタンク内のクーラントを補充します。
■ クーラントの漏れがないか確認してください。

警告

クーラントこぼさないでください。クーラントは別の容器に集めて、自治体のルールに則るもしくは廃棄業者にて処分してください。クーラントが皮膚や身体に触れないようにしてください。影響を受けた部分はすぐに石鹸と水で洗ってください。

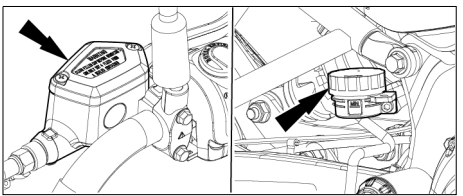
備考

■ 車両がサイドスタンドで立てられている状態のときは、クーラントを補充しないでください。
■ TOTAL のクーラントはそのまま使用でき、希釈する必要はありません。

メンテナンスに関する簡単なヒント

ブレーキフルードの点検

フロント : ブレーキフルードリザーバーが水平になっていること、および液面が最低レベルとしてウィンドウの中央にあることを確認します。
リア : ブレーキフルードリザーバーが水平になっており、液面が「MAX」と「MIN」レベルマークの間にあることを確認します。



車両をしっかりとした水平な地面に直立した状態にします。

注意

- ブレーキフルードは腐食性が高く、塗装された部品を損傷する可能性があります。ブレーキフルードが車両のどの部分にもこぼれないように注意してください。こぼれた場合は損傷を防ぐために、すぐに柔らかい布（できれば濡れた布）で拭いてください。
- DOT 4 と他のブレーキフルードを混ぜないでください。

備考

- 取り外す前にフィラーキャップを清掃してください。密閉容器に入ったDOT 4ブレーキフルードのみを使用してください。
- 指定されたブレーキフルードのみを使用してください。そうしないとゴムシールが劣化して漏れが発生する可能性があります。
- 同じ種類のブレーキフルードを補充してください。DOT 4 以外のブレーキフルードを補充すると有害な化学反応が起こる可能性があります。

メンテナンスに関する簡単なヒント

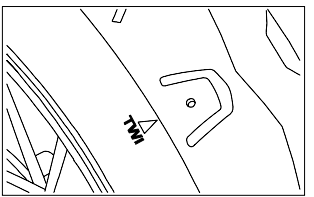
- 補充時にブレーキフルードリザーバーに水やほこりが入らないように注意してください。水はフルードの沸点を大幅に下げてベーパーロックを引き起こす可能性があり、汚れは ABS 油圧ユニットのバルブを詰まらせる可能性があります。

警告

- ブレーキフルードレベルが不十分だとブレーキシステムが故障します。
- ブレーキフルードが古くなるとブレーキ効果が低下します。
- 定期メンテナンススケジュールに従って、フロントブレーキとリアブレーキのブレーキフルードが交換されていることを確認してください。
- ブレーキフルードは子供の手の届かないところに保管してください。
- ブレーキフルードが皮膚、目、衣服に触れないようにしてください。
- ブレーキフルードは腐食性が高く、塗装された部品を損傷する可能性があります。ブレーキフルードが車両のどの部分にもこぼれないように注意してください。こぼれた場合は損傷を防ぐために、すぐに柔らかい布（できれば濡れた布）で拭いてください。

タイヤとホイールの点検

- 定期的にタイヤのトレッドの摩耗、ひび割れ、切れを点検してください。
- タイヤのトレッドに挟まったり刺さったりした石、破片、釘、その他の異物を確認して取り除きます。



メンテナンスに関する簡単なヒント

- 定期的にホイールのスポークに損傷がないか、ホイールリムにガタつきや振れがないか点検してください。
- タイヤを再度組み込むときは必ずタイヤのビードがリムに正しく取り付けられているかどうかを確認してください。
- 推奨タイヤのみを使用し、適切な空気圧に調整してください。

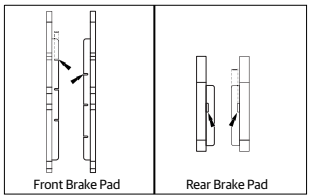
タイヤ空気圧	フロント&リア
一人乗車・二人乗車	32 psi/2.24 kg/cm^2

警告

- タイヤの空気圧が低いとタイヤが過熱し、タイヤが損傷してライダーが負傷する可能性があるため、適切なタイヤ空気圧で車両を運転することをお勧めします。
- 新しいタイヤに交換する場合は、Royal Enfield タイヤ仕様を使用することをお勧めします。これを遵守しないとタイヤが損傷し、ライダーが負傷する可能性があります。

ブレーキパッド

- 定期メンテナンス表に指定された間隔でフロントおよびリアのブレーキパッドの摩耗を点検する必要があります。



メンテナンスに関する簡単なヒント

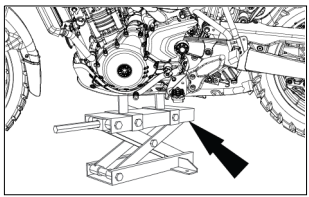
フロント / リア : ブレーキパッドがインジケーターまで摩耗している場合はパッドを交換する必要があります。

備考

- ディスクブレーキを装備したRoyal Enfieldの車両は最適なブレーキシステムを備えており、あらゆる状況下で優れた安全なブレーキ性能を発揮するように作られています。
- ディスクブレーキシステムは、特定の走行条件下では軽いノイズを発生することがあります。これは車両のディスクブレーキパッドに見られる正常な特性です。車両やブレーキ システムの性能には影響しません。
- Royal Enfield では、堅牢かつ厳格なテストおよび開発プロトコルを採用し、品質と耐久性の世界的な検証基準に準拠しています。当社はお客様に当社の車両で最高のオーナーシップを提供することに全力を尽くしています。

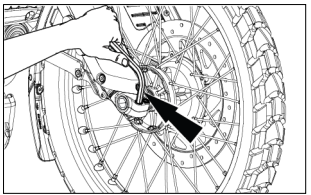
フロントホイールの取り外し

- 車両がしっかりとした平坦な地面に直立していることを確認してください。
- エンジンの下にシザージャッキを置き、フロントホイールが地面から最低 15cm 離れるように車両を持ち上げます。

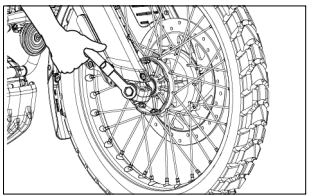


- ツールキットに含まれている 6 mm六角レンチを使用してLHSフロントフォークアセンブリからフォーククランプボルト 2 本を緩めて取り外します。

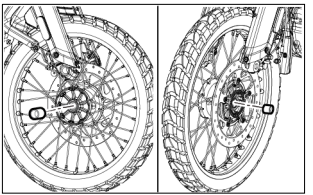
メンテナンスに関する簡単なヒント



■ ツールキットに含まれているフロントスピンドルアダプター、リングスパナ、エクステンションチューブを使用してLHSフロントフォークアセンブリーからスピンドルボルトを緩めて取り外します。



■ 完全に緩めたらスピンドルをLHSから手でゆっくりと引き出します。
■ ホイールをゆっくりと下げてフォークの脚から外します。
■ LHS と RHS の両方のフロントホイールハブからスペーサーを取り外します。

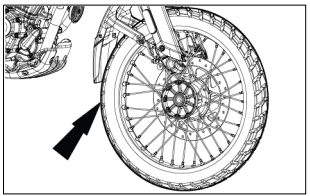


注意

■ フォークから車軸を取り外す際はホイールスペーサーとスピードセンサーを固定するように注意してください。

メンテナンスに関する簡単なヒント

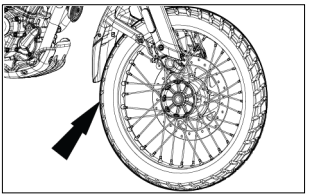
■ フロントホイールを取り外した状態でブレーキレバーを握らないでください。ブレーキパッドがブレーキキャリパーから外れてしまいます。



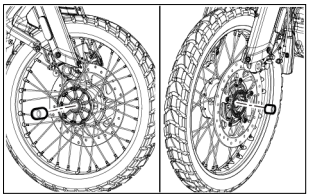
■ フロントブレーキレバーを誤って握られた場合にパッドが作動しないように、ブレーキパッドの間に厚さ 4 mm の木片または段ボールシートを挟みます。
■ ブレーキシステムや ABS に影響を与えるため、フロントブレーキディスクやトナーリングを損傷しないように注意してください。

フロントホイールの取り付け

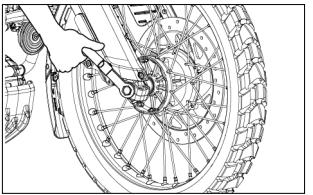
■ ブレーキパッドの間に挟んだ木片/段ボールシートを取り外します。



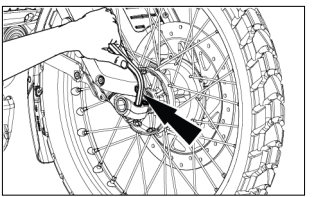
■ LHとRHの両方のホイールハブにスペーサーを配置します。
■ ホイールをスペーサーとともにフォークの間に挿入します。ブレーキディスクがブレーキパッドの間にあることを確認します。



- スピンドルがフォークの脚とホイールに通る高さでホイールを支えます。左側からスピンドルを挿入しスピンドルのねじ山が右側のフォークの脚のねじ山とかみ合うまで押し込み、スピンドルが完全に固定されるまでねじ込みます。
- LH 側のスピンドルボルトをしっかりと締めてください。



- フォーククランプボルトをLH側で25 Nmのトルクでしっかりと締めます。



メンテナンスに関する簡単なヒント

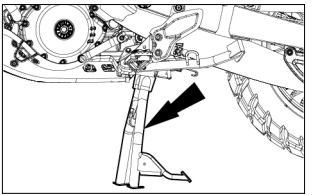
- ホイールを回転させてスムーズに回転するか確認します。
- ブレーキレバーを握りフロントブレーキの効きを確認します。

注意

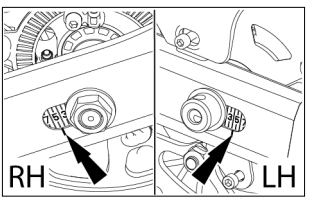
- 車両のフロントホイールを組み立てる際は細心の注意を払ってください。
- 乗車前にホイールが正しく取り付けられていることを確認してください。
- これを怠ると車両が正常に機能しなくなり、事故が発生してご自身や他の道路利用者が負傷したり、命を失う可能性があります。

リアホイールの取り外し

- 車両がしっかりとした平坦な地面に直立していることを確認してください。
- センタースタンドを立てます。

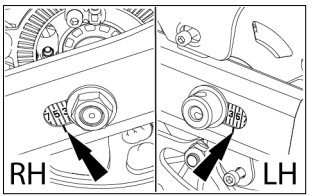


- 左側と右側のスイングアームの両方のチェーンアジャスターの位置合わせインデックスを確認してマークを付けます。

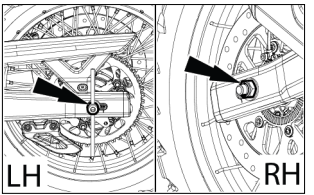


メンテナンスに関する簡単なヒント

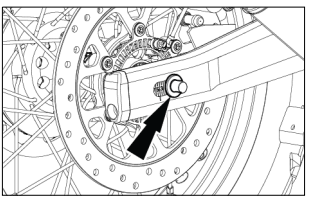
- ツールキットに含まれている 24 mm リングスパナを使用して左側および右側のチェーンアジャスターのロックナットとアジャスターナットを完全に緩めます。
- 左側のホイールスピンドルをしっかりと保持し、右側の六角ナットを緩めます。



- ホイールスピンドルからナットとワッシャーを取り外します。

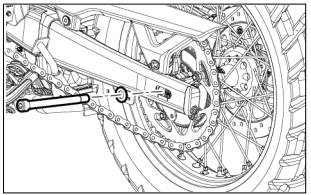


- リアホイールをスイングアームに完全に押し込みます。



メンテナンスに関する簡単なヒント

■ リアホイールを下から支え、左側スイングアームからホイールスピンドルを引き出します。

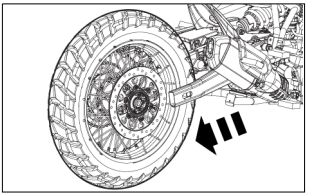


■ ブレーキホースをゆっくりと外し、右側のスイングアームからキャリパーアセンブリーを取り外します。

注意

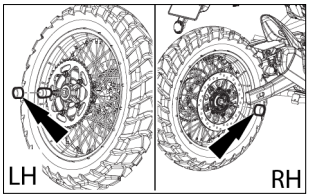
取り外す際にブレーキ ホースが損傷したりよじれたりしないように注意してください。キャリパーアセンブリーをスイングアームから離して適切に支えてください。

■ リアホイールを取り外すときにチェーンをスプロケットから外し、チェーンが詰まったり損傷したりしないことを確認します。



■ ホイールの底部からサポートを取り外し、リアスプロケット、ブレーキディスク、スペーサーとともにリアホイールをスイングアームからゆっくりと引き出します。

メンテナンスに関する簡単なヒント



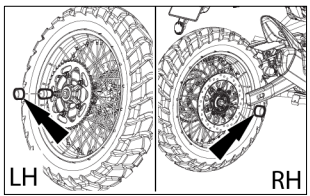
注意

リアホイールを取り外すときにリアブレーキペダルを踏まないでください。ブレーキパッドがブレーキキャリパーから外れてしまいます。

- リアブレーキペダルが誤って踏まれた場合にブレーキパッドが作動しないようにブレーキパッドの間に厚さ 4 ㎜ の木片または段ボールシートを挟みます。
- いかなる理由があっても車両を持ち上げたり起こしたりするためにリアブレーキペダルを操作しないでください。

リアホイールの取り付け

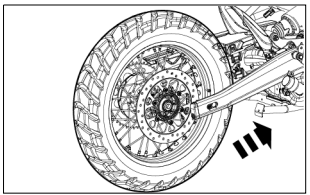
- 段付きスペーサーがブレーキディスク側にあることを確認し、スペーサーのリップをベアリングシールに挿入する必要があります。



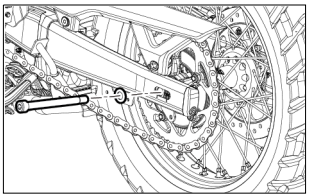
- スペーサーがホイールハブのスプロケット側に沿って配置されていることを確認します。
- チェーンアジャスターがスイングアーム左右の内側に正しく配置されていることを確認してください。

メンテナンスに関する簡単なヒント

- スイングアーム右側のタブにあるキャリパーアセンブリの位置を確認します。

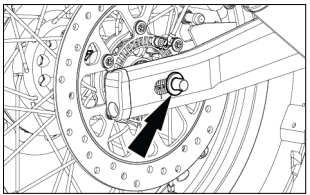


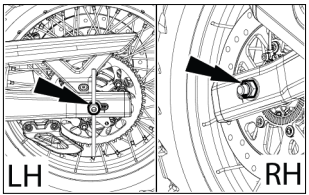
- ブレーキディスクが右側のブレーキパッドの間にあることを確認しながら、スプロケットが左側になるようにリアホイールを配置します。
- リアホイールを持ち上げてスイングアームブレーキキャリパーブラケットのチェーンアジャスターの穴のスロットとハブの中心穴の位置が合っていることを確認します。
- リアホイールを適切に支え、リアホイールスピンドルを左側スイングアームに沿ってホイールハブに挿入します。



- 右側のねじ山が完全に見えるまでタブスピンドルをホイールハブスロットにゆっくりと差し込みます。
- ドライブチェーンをスプロケットに取り付け、正しく取り付けられていることを確認します。
- リアホイールがスムーズに回転するか確認してください。
- 右側のホイールスピンドルにワッシャーと六角ナットを取り付けます。

メンテナンスに関する簡単なヒント





備考

六角ナットを完全に締めないでください。

- スイングアームの両側のインデックスマークが正しく揃うように左右のアジャスターのチェーンアジャスターナットを締めます。
- チェーンの張りとホイールのアライメントが正しいことを確認てください。
- 左側のスピンドルをしっかりと保持し、右側の六角ナットを締めます。
- スイングアーム右側にキャリパーアセンブリーを配置します。
- リアブレーキが適切に作動しているかを確認してください。

注意

車両のリアホイールを取り付ける際は、細心の注意を払ってください。
乗車前にホイールが正しく取り付けられていることを確認してください。
これを怠ると車両が正常に機能しなくなり、事故が発生してご自身や他の道路利用者が負傷したり、命を失う可能性があります。

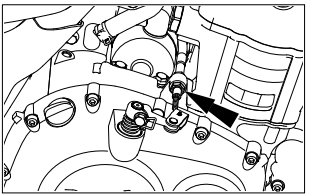
メンテナンスに関する簡単なヒント

一般的なクラッチレバーの遊び

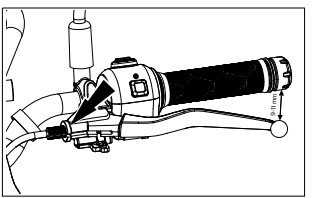
■ クラッチレバーの遊びは、あらゆる状況においても一定量の遊びがあるように設定する必要があります。

クラッチケーブル遊び点検/調整

1. クラッチケーブルの遊びはクラッチの寿命に大きな役割を果たします。クラッチの寿命を延ばすために必要に応じて調整することをお勧めします。
2. ケーブルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. ステアリングハンドルバーを右側のロック位置にします。
4. 12 mm のスパナを使用してリフターアームに最も近い調整ナットを完全に緩め測定します。



5. エンジンが作動する前にクラッチレバーのボールエンドに（最も遠い位置から）9 ～ 11 mm の遊びができるように内側の調整ナットの位置を調整します。



6. レバーを 3 回握って隙間を再度確認し、必要に応じて前項の手順に従って調整します。
7. 両方のスパナを使用して内側のナットを動かさずにリフターアームに最も近いナットを締めます。
8. ハンドルバーを5回以上左右に回転させてからまっすぐな位置に戻し、レバーの遊びを再確認します。
9. 必要に応じて手順 4 と 5 に従って調整します。

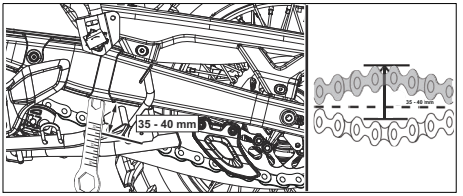
注意

- 記載の手順に従って遊び調整することに不安がある場合は、最寄りの認定サービスディーラーにご相談ください。
- 希望する遊びが得られない場合、またはクラッチの滑りが疑われる場合は遊びを確保し、最寄りの認定サービスディーラーにご連絡ください。
- 調整ナットはネジ部分に適切に収まっている必要があります。
- クラッチの遊びはエンジンが冷えているときにのみ確認および調整する必要があります。
- クラッチ遊び点検時はビークルコンディションのままクラッチケーブルに異常がないか点検します。
- 異常が疑われる場合は最寄りの認定サービスディーラーにご連絡ください。

ドライブチェーンテンション（遊び35～40 mm）

1. 車両をしっかりとした平坦な場所にまっすぐに駐車します。
2. ギアがニュートラルの位置にあることを確認します。
3. ホイールを回転させてチェーンのたるみが最も少なくなる/最もきつくなる位置を見つけます。
4. 指定されたポイントでチェーンを上方に押し、スイングアームまでの距離を測定します。
5. チェーンを下方に押し、スイングアームまでの距離を測定します。

メンテナンスに関する簡単なヒント



6. 手順 4 と手順 5 の値の差は、ドライブチェーンの遊びが 35 ～ 40 mm である必要があります。
7. ドライブチェーンの遊びが正しくない場合は、以下のように調整します。
   (a) リアホイールスピンドルを緩めます。
   (b) リアホイールをスイングアームスロットの最前部まで押し込みます。
   (c) 調整用六角ボルトを両側で少しずつ均等に回し、指定されたたるみ具合になるまで回します。両側のスロット内のホイールの位置は常に左右で同じにする必要があります。
   (d) ホイールスピンドルを 70 Nm のトルクで締め、調整用六角ボルトを 10 Nm のトルクで締めます。チェーンのたるみ具合を再確認して、それでも仕様範囲内でない場合は、調整手順の最初の 3 つの手順を繰り返します。

警告

- チェーンのたるみが指定限度を超えると、チェーンの滑りにつながりチェーンとスプロケットの摩耗率が増加する可能性があります。
- チェーンを調整した後、後輪スピンドルナットを締める前に、両方の車輪が正しく位置合わせされていることを確認してください。

メンテナンスに関する簡単なヒント

バッテリーとメンテナンス

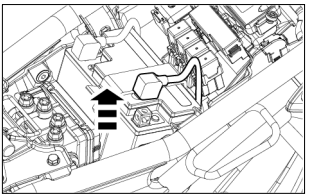
- 車両には12V-8AhのVRLAバッテリーが搭載されています。
- バッテリーは定期的に清掃や端子の腐食の有無を点検する必要があります。

備考

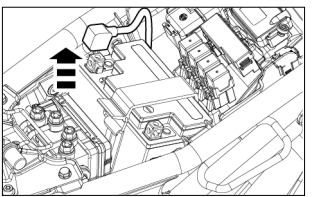
バッテリー端子の接触不良や緩い取り付けにより、ECUが故障する可能性があります。

取り外し

- エンジンを「OFF」にして、イグニッションキーをキーバレルから抜きます。
- バッテリーはライダーシートの下にあります。
- 手順に従ってパッセンジャーシートとライダーシートを取り外します。
- ツールキットに含まれている 10 mm のスパナを使用してバッテリーの黒色のマイナス端子ボルトを外します。

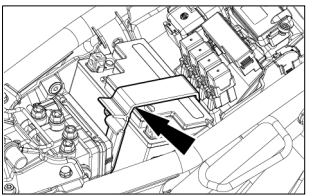


- ツールキットに含まれている 10 mm のスパナを使用してバッテリーの赤いプラス端子ボルトを外します。

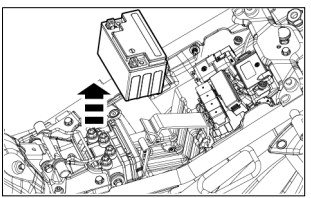


メンテナンスに関する簡単なヒント

■ バッテリーストラップ（ベルト）を下方に引き、バッテリーストラップブラケットからストラップロックを外します。



■ トレイからバッテリーを取り外します。



警告

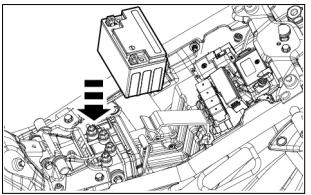
バッテリー接続を取り外すときは、必ず最初に黒色のマイナスケーブルを外し、次に赤色のプラスケーブルを外してください。

備考

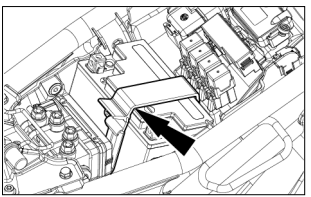
バッテリーを良好な状態に保つためには、車両の使用頻度が非常に重要です。車両の使用頻度が非常に少なく、端子が外されていない場合、バッテリーの充電が失われ、バッテリーが上がってしまいます。
バッテリー電圧を確認するには Royal Enfield 認定サービスディーラーにお問い合わせください。

取り付け

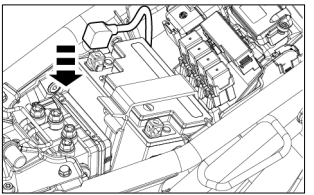
■ バッテリーをトレイに取り付けます。



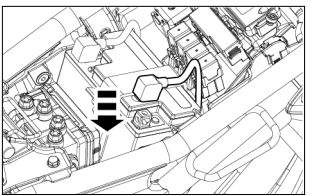
■ バッテリーストラップ（ベルト）を下方に引いて、ストラップロックをバッテリーストラップブラケットに固定します。



■ バッテリーの赤いプラス端子ボルトを接続します。



■ バッテリーの黒色のマイナス端子ボルトを接続します。



メンテナンスに関する簡単なヒント

■ 手順に従ってライダーとパッセンジャーシートを取り付けます。

注意

赤のプラス端子を接続した後、黒のマイナス端子を接続します。
赤色 のプラス端子と黒色のマイナス端子ケーブルをそれぞれのバッテリー端子にしっかりと接続してください。接続を怠ると、車両の電気系統が損傷する可能性があります。

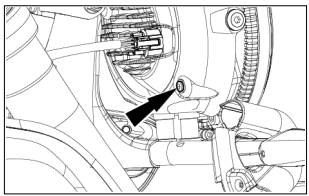
備考

ワイヤー端子を腐食しないように清掃し、端子をワセリンでコーティングした状態にしておきます。

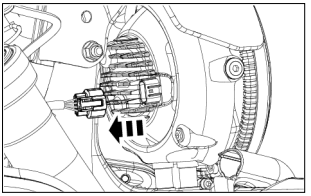
電装品の交換

ヘッドランプの取り外し

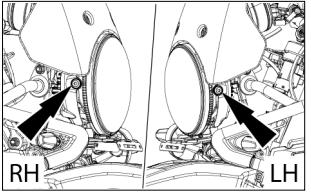
■ ヘッドライトのビーム調整ネジをゆっくり緩めて取り外します。



■ ヘッドランプカプラーを外します。



■ 4 mm六角レンチを使用してLH および RH 側ヘッドランプホルダーの六角ネジをゆっくりと緩めて取り外します。

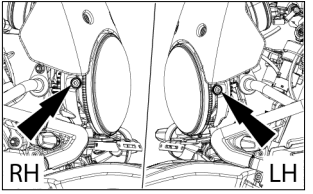


備考

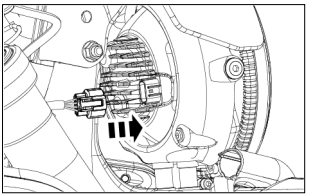
■ ヘッドランプには LED 照明システムが搭載されています。故障した場合はヘッドランプLEDアセンブリーを交換する必要があります。
■ 交換するにはRoyal Enfield認定サービスディーラーにお問い合わせください。

ヘッドランプの取り付け

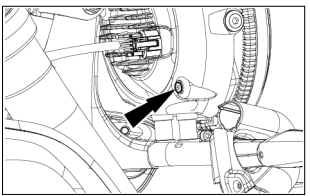
■ LH およびRH側のヘッドランプホルダーの六角ネジを締めて取り付けます。



■ ヘッドランプカプラーを接続します。



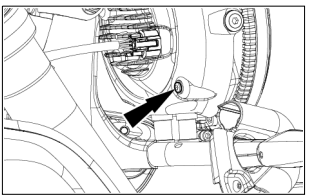
■ ヘッドライトのビーム調整ネジを締めて取り付けます。



ヘッドライトビーム調整

■ 調整ネジを時計回りまたは反時計回りに回すことで、ヘッドライトのビーム焦点を垂直方向に調整できます。

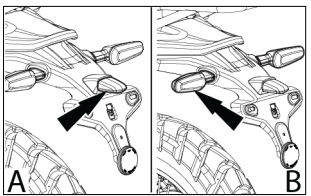
■ 調整ネジはヘッドライトのビームの高さを垂直方向にのみ調整するために使用されます。これは視認性を高め、他のライダーや車両が自車近くを通過するのを防ぐために必要になる場合があります。



メンテナンスに関する簡単なヒント

テールランプ/方向指示器＆ナンバープレート照明

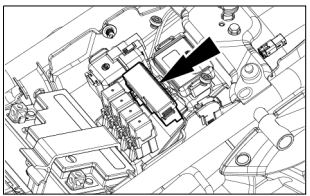
- テールランプ / 方向指示器（B）とナンバープレート照明装置（A）にはLED照明システムが搭載されています。故障した場合はテールランプ / 方向指示器（B）とナンバープレート照明装置（A）のアセンブリーを交換する必要があります。
- 交換するにはRoyal Enfield認定サービスディーラーにお問い合わせください。

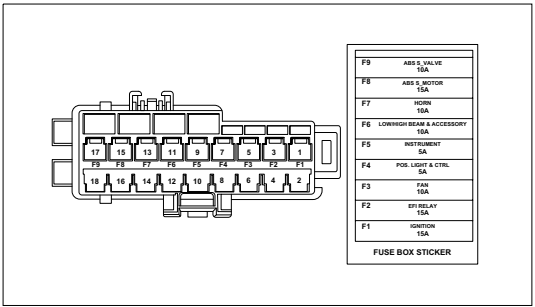


メンテナンスに関する簡単なヒント

ヒューズとヒューズキャリア

- ヒューズキャリアはライダーシートの下にあります。
- イグニッションキーを挿入し、時計回りに回します。
- パッセンジャーシートとライダーシートを外側に取り外して開けます。





メンテナンスに関する簡単なヒント

ミニブレードヒューズ使用リスト

ヒューズID番号	色	定格	備考
F1	青	15 A	イグニッシ
F2	青	15 A	EFIリレー
F3	赤色	10 A	ファン
F4	黄色	5 A	POS、ライト&CTRL
F5	黄色	5 A	インストゥルメント
F6	赤色	10 A	ロー/ハイビームとアクセサリー
F7	赤色	10 A	ホーン
F8	青	15 A	ABS Sモーター
F9	赤色	10 A	ABSバルブ
スペアヒューズリスト			
SF1	黄色	5 A	スペアヒューズ
SF2	赤色	10 A	
SF3	青	15 A	

警告

ヒューズが飛んだら車両の電気系統を徹底的に点検し、すぐに故障箇所を修理してください。修理しないとヒューズが再び飛ぶ可能性があります。
指定定格以外のヒューズを使用したり、その他の導電性材料や低品質のヒューズを使用したりすると電気システム全体が損傷します。
できるだけ早くホルダー内のスペアヒューズを交換してください。
飛んだヒューズをジャンパー接続しようとするとショートや火災の危険が生じます。飛んだヒューズは必ず同じ定格の新しいヒューズと交換してください。

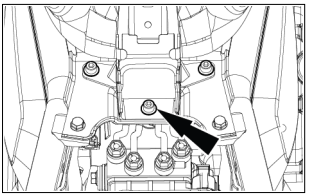
備考

電球、ヒューズ、電気部品を交換するときはイグニッションスイッチが「OFF」の位置になっていることを確認してください。

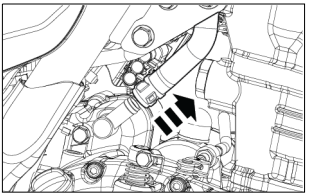
メンテナンスに関する簡単なヒント

エアフィルターの清掃

- エアフィルターは燃料タンクの下にあります。
- 手順に従ってパッセンジャーシートとライダーシートを取り外します。
- ツールキットに含まれている5 mm 六角レンチを使用して燃料タンクブラケットの前部ボルト 2 本を取り外し、適切なツールを使用して中央のボルトを取り外します。



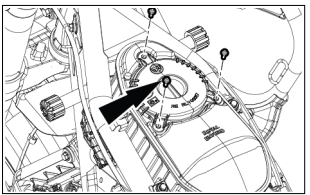
- フューエルフローホースと燃料タンクセンサーを外します。



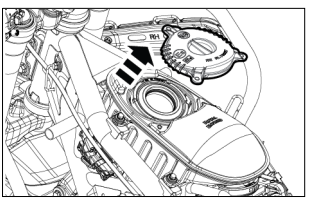
- 燃料タンクをフレームから外側に引き出します。

メンテナンスに関する簡単なヒント

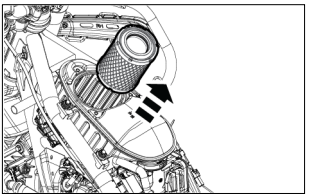
■ ツールキットに含まれている 4 mm 六角レンチを使用してエアフィルターカバーの六角ネジ 3 本を緩めて取り外します。



■ エアフィルターボックスからカバーを取り出します。



■ フィルターエレメントを引き出してエアフィルターボックス内にほこり、汚れ、油分がないか確認し、慎重に清掃します。



備考

エアフィルターエレメントの清掃には高圧圧縮空気の使用は推奨しません。エアフィルターエレメントの取り付けは、取り外し手順の逆の手順で行います。

長距離旅行の注意事項

長距離運転前のチェック

- Royal Enfield認定サービスディーラーで車両のメンテナンスを行ってください。
- 計画された旅程に十分な量の燃料が常に燃料タンク内にあることを確認してください。
- 必要に応じてタイヤの空気圧を点検し、調整してください。

長距離走行の前にこれらすべての点を確認してください

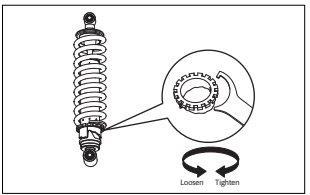
- 緩んだボルト、ナット、ネジ
- タイヤのコンディション
- エンジンオイルとクーラントの適正レベル
- すべての灯火類とホーンの作動
- ドライブチェーンの張り具合
- クラッチケーブルの遊び

携行品

- ツールキット
- トラフィケーターライトとヒューズ
- アクセルとクラッチケーブル
- スパークプラグ、スパークプラグキャップ、燃料ホース

リアサスペンションの設定

- 車両をセンタースタンドで立てます。
- タイヤの空気圧が推奨値になっていることを確認してください。
- 調整する前にアジャスターに汚れやゴミがないことを確認してください。汚れやゴミがある場合は調整する前に適切に清掃してください。

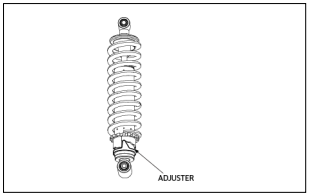


- アジャスターは 6 段階調整で、3 段目の位置に保持されます。
- ショックのプリロードを調整するにはCスパナを使用してアジャスターを時計回りに回してプリロードを増やします。
- Cスパナを使用して反時計回りに回転させてショックのプリロードを調整し、プリロードを減らします（最初のノッチの位置にします）。

備考

- サスペンションの調整には C スパナが必要です。車両ツールキットに付属の C スパナを使用することをお勧めします。エクステンションチューブは、てこ作用で使用します。
- 最適なスプリングプリロード設定はライダーの体重、荷物の重量、および同乗者の体重に合わせて設定することで実現します。

リアサスペンションの設定



■ プリロードを増やし、最大負荷（GVW 状態）の最終ノッチに保つことをお勧めします。これにより、ハンドリングと安定性の理想的な妥協点が確保されます。

コンディション	最大参照積載量	サスペンションセッティングノッチ	タイヤ空気圧（psi） フロント＆リア
荷物なし/1人乗り/ライダーのみ	ライダーの体重に基づきます	3段	32
積載/2人乗り/ライダー+パッセンジャー/ライダー&パッセンジャー+アクセサリー/オフロードコンディション	最大積載量196kg（ライダー、パッセンジャー、アクセサリーを含む）	6速	

洗車手順

注意点

- イグニッションキーを抜き、粘着テープを使用してイグニッション キーバレルスロットを塞ぎます。
- 車両の洗車を始める前に、シートの下にツールキットや自動車検査証などの関連書類がある場合は取り出してください。
- サイレンサーテールパイプ、ホーン、コントロールスイッチは水の浸入を防ぐために適切にカバーする必要があります。
- 車両の洗車はエンジンが冷えた状態のときにのみ行ってください。
- 水の浸入を防ぐため、洗車中はサイドパネルを取り外さないでください。
- 推奨される非腐食性溶剤を使用してエンジン部分をブラシで磨き、汚れやグリースを除去します。
- 低圧水ジェットを使用して洗車します。
- ヘッドランプ、スピードメーター、フラッシャーライト、フロントおよびリアホイールハブ、電気接続部および配線、制御ケーブル、スパークプラグ、バッテリー、ABS ECU、EMS ECU、サイドミラー、ステアリングステムなどに絶対に強い水をかけないでください。
- ヘッドストックベアリングまたはステアリング ステムベアリングのシール、ホイールベアリングのシール、ブレーキキャリパー、空気取り入れ口および排気口の近くでは高圧洗浄機やスチームジェットクリーナーを使用しないでください。
- 塗装面やゴム部品に腐食性溶剤を塗布しないでください。
- 塗装部分にはぬるま湯と中性洗剤を使って汚れなどを落としてください。
- 車両表面の洗剤を真水で徹底的に洗い流します。
- ブリーザーホールからの水の浸入を防ぐため、インストゥルメントクラスターの下部に向けて直接水をかけないでください。
- 可能であれば圧縮空気を使用して、車両の目立たない部分や電気接続部などから水滴を吹き飛ばしてください。

洗車手順

- 車両が塩分を含んだ状況(冬季に路面凍結防止のために塩が使用されている場所)や海岸近くを走行した場合は、腐食や錆の蓄積を防ぐために、走行後に冷水で車両を洗車することをお勧めします。塩との化学反応により車両にダメージを与える可能性があるため、洗車に温水は使用しないでください。洗車後、車両が完全に乾いたら部品を腐食から保護するために、すべての金属部分とクロームメッキ部分に防錆スプレーをかけることをお勧めします。
- ブレーキディスクに防錆スプレーはかけないことをお勧めします。
- 電子部品の清掃や洗浄にはガソリン、ブレーキオイル、その他の可燃性液体を使用しないでください。
- モーターサイクルコンフィギュレーターを使用して選択した部品は、石鹸や化学薬品で洗浄しないでください。真水のみを使用してください。
- デカールの端、電気部品、カプラージョイント、サイレンサーテールパイプ、ステアリングコーンキットなど、ラジエーター潤滑ポイント、ブレーキペダル、ホイールベアリング、チェーン、ブレーキカム、スイングアームブッシュには直接ジェットをかけないでください。ジェットモードではなくスプレーモードでのみ洗浄してください。

洗車後

- 清潔で柔らかく、糸くずの出ない吸収性のある布またはセーム革で拭いて、車両が完全に乾いていることを確認してください。
- すべての粘着テープを取り外します。
- コントロール ケーブル、フットレストのピボット、サイドスタンド、センタースタンド、ブレーキおよびギアシフターのリンク機構、ドライブチェーンなどに潤滑油を塗布します。
- 推奨されているワックスを使用して、塗装面およびメッキ面を磨きます。
- エンジンを始動し、アイドリングで数分間運転してエンジンを暖めます。
- 車両ゆっくり運転し、前後のブレーキを断続的にかけてブレーキパッドの水を乾燥させます。
- ツールキットや自動車検査証などの関連書類をパッセンジャーシートの下に保管する前に、LH および RH サイドパネル内の水分を完全に拭き取ってください。

洗車手順

陽極酸化コーティングされた部品の洗浄とクリーニングの推奨事項

- まず、ホイール リム アセンブリを最初に水スプレーで洗い流し、陽極酸化処理された表面を完全に濡らします。
- マイクロファイバークロスを使用して、希釈した洗浄液をホイールリムアセンブリに塗布します。
- 洗浄液を塗布した後、ホイールリムアセンブリを直ちにきれいな水で洗い流してください。
- 洗車が完了したら、圧縮空気または乾いた布を使用してホイールリムアセンブリを完全に乾燥させ、表面に水が残っていないことを確認します。

注意

- 車両部品の洗浄および清掃の前に洗浄液を薄める必要があります。
- ホイールリムアセンブリの陽極酸化仕上げを劣化させる可能性があるため、過度のこすり洗いや洗浄液の繰り返し使用は避けてください。
- 洗浄液が直射日光下で車体の表面に付着したまま乾燥させないでください。ホイールリムの塗装に永久的なシミ、くすみ、変色が生じる可能性があります。
- 陽極酸化コーティングには研磨剤やワックスを使用しないでください。
- 表面に鳥の糞やその他の外部汚染物質が見つかった場合は、すぐに洗い流し、湿らせたマイクロファイバークロスで優しく拭いてください。

保管上の注意

車両を 1 か月以上使用しない場合は、以下のことに注意してください。

- Royal Enfield認定サービスディーラーで車両のメンテナンスを受けてください。
- 燃料タンクと吸気システムから燃料を完全に排出します。
- ドライブチェーンを徹底的に清掃し、Royal Enfield が推奨するチェーン潤滑剤を塗布します。
- 塗布後　5　分経過したら余分な潤滑剤を拭き取ってください。
- ヒューズボックスから充電回路ヒューズを取り外します。
- バッテリーは涼しく、乾燥した換気の良い場所に保管してください。
- 湿気の侵入を防ぐためにサイレンサーを適切な袋で覆います。車両をセンタースタンドで立てます。
- すべてのメッキ部品に防錆液を塗布します。この溶液をクロム、ゴム、塗装部品に塗布しないように注意してください。車両は湿気やほこりのない清潔な屋根付きの場所に保管してください。
- 保管後に再利用する場合は、車両を最高の動作状態に復元できるようにRoyal Enfield認定サービスディーラーで車両の準備をしてもらうことをお勧めします。
- 車両を1か月以上使用しない場合はバッテリー端子を外してバッテリーを取り外すことをお勧めします。車両にバッテリーを再度取り付ける前に、バッテリー電圧が正常値範囲内であることを確認してください。そうでない場合は認定サービスディーラーで充電してください。

トラブルシューティング

車両が機能しない場合に備えて、いくつかの基本的なチェックを以下に示します。これらのチェックを行っても問題が解決しない場合は問題箇所を修理し、トラブルのないパフォーマンスを確保するためにRoyal Enfield認定サービスディーラーで車両を点検する必要があります。

症状	観察	確認/対処
エンジンが始動しない	イグニッション/エンジンキルスイッチがOFFの位置にある	イグニッションをONにする
	燃料タンク内の燃料レベルが不十分	燃料を給油する
	ライトが暗い/クラクションの音が弱い	バッテリーが弱っているか放電している/充電回路に問題がある 認定サービスディーラーにお問い合わせください
	ヒューズが飛んだ	1. 同じ定格のヒューズを交換する 2. 問題が解決しない場合は認定サービスディーラーにお問い合わせください。
	スパークプラグ、キャップ、ハイテンションケーブルの接続の問題	スパークプラグ、キャップ、ハイテンションケーブルを再接続します。

トラブルシューティング

症状	観察	確認/対処
エンジンは始動するが、1速に入れると自動的に停止する。	サイドスタンドインジケーターがクラスター内で点灯する	サイドスタンドを正しい位置で維持してください
エンジンが失火し、動作が不安定になったり、停止したりする。	燃料に不純物や水分が混入している	認定サービスディーラーにお問い合わせください
	エンジンが熱くなりすぎる	エンジンのスイッチを切り、エンジンが冷えるのを待ちます
ピックアップ不良	エンジン回転数が車速に対して不釣り合いに上昇する	クラッチの遊びを調整し、認定サービスディーラーに連絡してください。
ABS（アンチロックブレーキシステム）	ABSランプが点灯し続ける	認定サービスディーラーにお問い合わせください

環境配慮

環境を意識したライダーになりましょう

Royal Enfield に乗って美しい場所を走り抜けたことがあるでしょう。その場所をそのままの状態で維持したいと思いませんか？ 他の人も楽しめるように、その場所をそのまま維持するためのヒントをいくつかご紹介します。

使用済みとなった部品 /車 両の廃棄

エンジンオイル、クーラント、その他の洗浄溶剤などの液体廃棄物は定期的に交換する必要がありますが、それらはどうなるのでしょうか？土壌や水域に投棄しないように注意してください。
容器に保管し、（ある場合は）政府公認のリサイクル業者または認定サービスディーラーに引き渡してください。
バッテリー、タイヤ、プラスチック部品、電気または電子部品、オイルフィルターは、（ある場合）公認のリサイクル業者または認定サービスディーラー引き渡してください。
車両の洗浄に使用した洗浄溶剤またはスプレーは、環境に優しい方法で処分してください。
使用済み車両とみなされる車両を処分する場合は、お近くの公認 / 登録済みの車両スクラップ施設に車両を引き渡すか、自治体に連絡して適切な手順に従ってください。

定期メンテナンス

ここで詳述するメンテナンス スケジュールは、Himalayan を細心の注意を払ってメンテナンスしトラブルのないサービスを受けるのに役立ちます。ここで提供されるスケジュールは平均的な走行条件に基づいており定期的な検査、調整、交換、および潤滑を行うべき km を示しています。メンテナンスの頻度は運転条件の厳しさや、車両が非常にほこりの多い環境で使用される場合に応じて短くする必要があります。専門家のアドバイスを受け、必要なメンテナンスを行うには最寄りの Royal Enfield 認定サービスディーラーにお問い合わせください。

シリアル番号	説明	定期メンテナンス（いずれか早い方）										
	km (x 1,000)	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	Miles (x 1,000)	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	月	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
1	エンジンオイル	R	I	R	I	R	I	R	I	R	I	R
		1000 km ごとに（または必要に応じてそれより早く）オイルレベルを確認し、必要に応じて補充してください。										
2	エンジンオイルフィルター	R		R		R		R		R		R
3	吸排気バルブクリアランス			I&A		I&A				I&A		

定期メンテナンス

シリアル番号	説明	定期メンテナンス（いずれか早い方）										
	km (x 1,000)	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	Miles (x 1,000)	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	月	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
4	スパークプラグ					I				R		
5	HT リード			I		I		I		I		I
6	ゴムホース、エアフィルターからスロットルボディまで			I		I		I		I		I
7	ゴムホース、インレットマニホールド / アダプター			I		I		I		I		I
8	蒸発ガス排出装置用ゴムホース			I		I		I		I		I
9	カバーに O-RING が付いたエアフィルターエレメント			R		R		R		R		R
		ほこりの多い状態で運転する場合は、より頻繁に清掃 / 交換してください。										
10	エアフィルターボックス下の通気管			I		I		I		I		I
11	クーラント	I	I	I	I	I	I	R	I	I	I	I
		1000 km ごとに（または必要に応じてそれより早く）エキスパンションタンク内のクーラントレベルを確認し、必要に応じて補充してください。										

定期メンテナンス

シリアル番号	説明	定期メンテナンス（いずれか早い方）										
	km (x 1,000)	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	Miles (x 1,000)	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	月	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
12	燃料ポンプ（タンク下）の取り付け			I		I		I		I		I
13	燃料ポンプストレーナー							R				
14	スロットルボディ	スロットルボディは車両から取り外し、乾いたマイクロファイバークロスで清掃する必要があります。スロットルボディクリーナーや類似の溶剤、アルコールベースの液体を清掃に使用することは固く禁じられています。スロットルボディは、必要に応じて 40,000 km または 48 か月のいずれか早い方ごとに清掃してください。										
15	クラッチケーブル / レバーの遊び	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
		1000 km ごとに調整（必要に応じて早めに）										
16	クラッチレバーとフロントブレーキレバーのピボット	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L
		1000 km ごとに（または必要に応じて早めに）注油してください。										
17	ブレーキパッド - フロント&リア	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I

定期メンテナンス

シリアル番号	説明	定期メンテナンス（いずれか早い方）										
	km (x 1,000)	**0.5**	**5**	**10**	**15**	**20**	**25**	**30**	**35**	**40**	**45**	**50**
	Miles (x 1,000)	**0.3**	**3**	**6**	**9**	**12**	**15**	**18**	**21**	**24**	**27**	**30**
	月	**1.5**	**6**	**12**	**18**	**24**	**30**	**36**	**42**	**48**	**54**	**60**
18	ブレーキフルード - フロント&リア	I	I	I	I	R	I	I	I	R	I	I
19	リアブレーキペダルピボット	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L
20	ブレーキホースとバンジョーボルト - フロント&リア	I		I		I		I		I		I
21	ステアリングの動き	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
22	スポークの締まり具合 / ホイールリムの前後の振れ	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
23	リアホイールドライブチェーン	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
		500 km ごとに（または必要に応じてそれより早く）、または濡れた / ほこりっぽい / 泥だらけの状態で走行した後は清掃、潤滑、整行ってください。										
24	リアホイールクッションゴム					I				I		
25	バッテリー端子（ワセリンを塗布）	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I

定期メンテナンス

シリアル番号	説明	定期メンテナンス（いずれか早い方）										
	km (x 1,000)	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	Miles (x 1,000)	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	月	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
26	アース線アイレットの締め付け			I		I		I		I		I
27	フロントとリアのタイヤの摩耗パターン	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
28	サイドスタンドとセンタースタンドのピボット	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L
29	ライダーとパッセンジャーのフットレストピボット	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L
30	エンジンマウント、スイングアーム、フロント&リアホイールスピンドル、Tステムピンチボルト、リアサブフレームマウントボルト、リアリンケージ	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I

A: 調整 C: 清掃 I: 点検（清掃、調整、必要に応じて注油または交換）L: 注油 R: 交換

備考

50,000 km（31068.56 マイル）走行後のメンテナンスについてはRoyal Enfield認定サービスディーラーにご相談の上、上記と同じ頻度でメンテナンスを行ってください。

一般的な 保証条件と条項

Royal Enfield（のバイクは）のバイクは、材料と製造工程に関して最高の品質基準に従って製造されています。すべてのオートバイ（登録国に関係なく）は、登録国に加えて、別の国にある Royal Enfield 認定ディーラーワークショップ / サービスセンターから限定保証サービスを利用できます。お客様は利用規約を参照してください。ボーダレス保証ポリシーに記載されています。

重要：これらの利用規約と条件を必ず読んで理解してください。

この保証は、オートバイの保証範囲の義務と除外のみを規定する契約条件を概説しており、Royal Enfield 認定ディーラー側のものではありません。この文書の内容は、Royal Enfield とその正規販売店またはそのスタッフとの間の主たる代理人関係として解釈されるべきではありません。Royal Enfield は、以下の条件下で、通常の使用において製造上および材料上の欠陥がないことを保証します。

1. オートバイの保証は、最初の所有者へのオートバイの販売日からいずれか早い方の 36 か月の期間の満了まで有効であり、その後の所有者に対しては、上記の保証期間の満了までの残りの期間について保証が行われます。

2. 二番目 番目以降の所有者が保証の恩恵を受けるには、二番目 番目以降の所有者は、最寄りの Royal Enfield サービスセンターにオートバイの購入について通知し、認定された Royal Enfield サービスセンターから要求されたフォームに必要な詳細を記入する必要があります 中心。

一般的な 保証条件と条項

3. オートバイの保証は、当該オートバイに関するすべてのメンテナンスとサービスが、オーナーズマニュアルのスケジュールに 従って、それぞれの保証期間 / キロメートルの範囲内で Royal Enfield 認定ディーラー / サービスからオーナーによって利 用された場合にのみ適用されます 中心。

4. 保証期間中、Royal Enfield の保証義務は、検査の結果、不良部品に製造上の欠陥があると判断された場合にのみ、不良部品を修理するか、または新しい部品と交換することに限定されます。保証期間内に交換された欠陥部品は、Royal Enfield の唯一の所有物となります。

5. この保証は、製造上の欠陥がある純正部品の修理または交換に明示的に限定されており、保証の唯一の救済手段となります。

6. 適用法によって許容される最大限の範囲において、明示的か黙示的かを問わず、その他のいかなる保証も一切放棄されます。ここで言及されている黙示の保証の除外は、適用法によって禁止されている範囲には適用されません。

7. 以下 の 場合 保証 は 適用 さ れ な い も の と し ま す:

   (a) 修理 / 交換中に使用されるオイル、オイルフィルター、ブレーキフルード、冷却剤、燃料、グリースなどを含むがこれらに限定されない消耗品は保証の対象外であり、そのような消耗品は顧客の負担となります。

一般的な 保証条件と条項

(b) お客様は、製品またはその交換部品の修理から生じる、または製品またはその交換部品の取り付けから生じるすべてのリスクと責任を負います。保証期間中のいつでも、製品またはその一部が、会社によって許可されていない人物によって、何らかの方法で削除、変更、改ざん、調整、変更、解体、修理、または取り扱われた場合、このポリシーは直ちに無効となり、最初から無効となり、いかなる効力も持たなくなります。

(c) メッキ部品 (耗や損傷を)、塗装、ゴム部品、軟質部品、ガラス部品、プラスチック部品などの通常の経年劣化や錆び。オイルフィルター、エアフィルターペーパーエレメント、コントロールケーブル、ブレーキシュー / ブレーキパッド、クラッチプレート、ドライブチェーン & スプロケットキット、ステアリングボールレース、電気機器、ワイヤーハーネスなどのコンポーネントは、通常の摩耗や損傷を受けます。推奨グレード以外の潤滑剤、冷却剤、ブレーキ液、フォークオイル、燃料の使用、または不適切なレベルにより故障が発生しました。

(d) 純正部品または付属品以外の使用、適切なメンテナンスの欠如、不適切な運転習慣による損傷。オートバイの性能に影響を与える、いたずらによるエンジン管理システム部品 (ECU、スロットルボディ、センサーなど) の損傷。事故、衝突、怠慢、乱用、誤った取り扱い、火災、天災などにより損傷した部品。

(e) 微振動、オイル漏れ、エキゾーストパイプ曲がりや猫部の変色、サイレンサー、ショックアブソーバーのソフトまたはハード等、品質や機能に影響を与えると認められない異常。

(f) 排気管とサイレンサーの変色は、使用中に自然に起こる現象です。

(g) サイドカー、トレーラーヒッチなどの非承認アクセサリや部品の取り付け、または追加の電気負荷によって生じた欠陥や損傷。

(h) 認可されていないサービスセンターで整備または修理されたオートバイ。

(i) 競技 / レース / ステージラリー / スタント / ジャンプ / アクロバットなど、または類似の活動に使用されるオートバイ。オートバイはそのような目的や使用のために設計または意図されていません。

(j) 電球、ヒューズなどの電気部品や、アーク溶接による修理での ECU を含む電子部品の故障。

(k) バイクのフレームのどこかに改ざん / 穴あけ / 溶接の跡が見つかりました。

(l) ブレーキの調整、燃料システムの清掃、エンジンのチューンナップなどの通常のメンテナンス作業。

(m) 研磨された / 塗装された / 粉体塗装されたアイテムなどの酸化

(n) 戦争行為、天災または自然災害、地震、ハリケーン、竜巻、洪水、火災またはその他の類似の災害、暴動、テロ行為などを含むがこれらに限定されない、あらゆる不可抗力事象により生じた損害。

(o) オートバイまたはその部品の不適切な組み立て、メンテナンス、保管、使用によって生じた損傷、故障、損失。

一般的な 保証条件と条項

8. Royal Enfield が承認した部品と付属品のみを使用してください (適用) の他のメーカーの性能部品を使用すると、新しいオートバイの保証が受けられなくなります。

9. 以下の場合、保証はヌルとなり無効になります。

(a) オートバイがレクリエーションや交通以外の目的で使用される場合、または

(b) オートバイが何らかの方法で改造されている場合、または

(c) シリアル番号 / 識別コードが削除、汚損、変更、消失、または除去されている。

10. 以下の事項は、本保証の条件および規定から明示的に除外されます。

(a) 元の保証対象部品または付属品が Royal Enfield 認定ディーラーによって取り付けられた場合を除き、この保証に基づいて交換部品を取り付けるための人件費。

(b) RE オートバイ モデル用に設計または推奨されていない RE アクセサリを改造して、RE オートバイ モデルに取り付けたもの。

11. Royal Enfield は、最終的にすべての保証の請求を決定する権利を留保します。

12. RE は、既に供給されたバイクにこれらの変更を搭載する義務を負うことなく、バイクの設計を変更する権利を留保まし

一般的な 保証条件と条項

13. Royal Enfield は、保証期間中にお客様（顧客）がオートバイ、その部品および規定の付属品を購入したり、オートバイの整備を受けたり、適用可能な保証を請求したりした結果として、お客様または第三者に関する機密データおよび / または個人データや情報を受け取ることがあります。あなたと関係のある関係者（配偶者、家族、親戚など）。このようなデータはお客様から、または他のソースから受信される場合があり、一部の機密データ / 個人データは Royal Enfield の内部セキュリティシステムまたはその他の手段によって直接的または間接的に記録される場合があります。Royal Enfield は、関連性のある限定された目的のためにそのようなデータを処理することがあります。この点に関して、お客様は以下に明示的に同意するものとします。

(a) Royal Enfield による、お客様またはお客様に関連する第三者に関する機密性の高い個人データおよび情報の処理。

(b) 限定された目的のためにお客様に関する機密性の高い個人データおよび情報を収集および処理すること。

(c) Royal Enfield が保有する、お客様またはお客様に関連する第三者に関する機密性の高い個人データおよび情報の、Royal Enfield のサービスプロバイダー、ディーラー、サプライヤー、アドバイザー、および Royal Enfield の全世界の組織のオフィス、および開示が必要とされる第三者への世界的な転送。当該第三者への提供が通常の業務の過程または法律で義務付けられている場合、およびマーケティング資料、ビデオなどでお客様の個人的な画像や音声を使用する場合。

一般的な 保証条件と条項

上記 13 項で明示された同意を撤回したい場合は、support@royalenfield.com に電子メールを送信して同意を撤回することに同 意し、RE はそれに応じて、お客様に関する機密データおよび / または個人データをすべて削除します。適用法に従い、合理的 な期間内に RE の記録を提出します。

14. この保証違反に対する唯一の救済策は、Royal Enfield の選択により、欠陥のある材料、コンポーネント、または製品の修理または交換となります。この保証に違反した場合に、本保証に規定されている救済手段のみが、いかなる者にも認められる唯一の救済手段となります。RE は、明示的または黙示的な保証、その他の契約、過失、その他の不法行為などから生じるいかなる種類の偶発的、結果的または特別な損害についても、いかなる人物に対しても責任を負いません。この結果的損害、付随的損害および特別損害の除外は、排他的救済がその本質的な目的を果たせなかったという認定とは独立しており、その認定後も存続するものとします。

15. 保証の免責 : ここに明示的になされた保証を除き、RE は、事実上、または法律、法令またはその他の方法により、明示的または黙示的にいかなる保証または表明も行いません。

16. 一般保証はインドの法律に準拠するものとし、お客様はインドのニューデリーの裁判所の専属管轄権および裁判地に同意するものとします。

ボーダレス保証条件および条件

RE ボーダレス保証（個人輸入により国外に輸出されたバイクには適用されません）には、以下の条件が適用されます。

1. ライダーは、Royal Enfield 正規販売店による確認のために、メンテナンスおよびサービス記録、所有権の証明、およびオートバイ登録書類（原本 / コピー / ソフトコピー）を携帯する必要があります。
2. 定期メンテナンス サービスは、オーナーズ マニュアルのスケジュールに従って、それぞれの期間 / キロメートルの範囲で Royal Enfield 認定ディーラー ワークショップ / サービス センターから受けられます。
3. Royal Enfield 正規ディーラーワークショップ / サービスセンターの義務は、検査の結果、部品に製造上の欠陥があると判断 された場合にのみ、オートバイの純正部品を無料で修理 / 交換することに限定されます。交換された不良部品は、適切な検証 後、Royal Enfield の唯一の所有物となります。
4. ライダーは､自らの費用と手段で Royal Enfield 認定ディーラーのワークショップ / サービス センターまでのオートバイの輸送を行うものとします。

ボーダレス保証条件および条件

5. Royal Enfield 正規ディーラーワークショップ / サービスセンターは、可能な限り最適なタイミングでバイクをお届けできる よう努めます。ただし、特定の国で必要な排出ガス規制や国固有の認証済みスペアパーツが入手できるかどうかによって、サービス時間 / 期間が通常より長くなる / 延長される場合があります。
6. Royal Enfield 正規ディーラーワークショップ / サービスセンターは、フォグランプ、高出力ランプ、アフターマーケットホーン、携帯電話などの電気または電子機器を含む非純正スペアパーツおよびアクセサリの分解、再組み立て、または取り外しと再取り付けを行う際には、最大限の注意を払います。充電器、ナビゲーター等ただし、Royal Enfield 正規ディーラーワークショップ / サービスセンターは、サービス / 修理中に非純正スペアパーツやアクセサリーを組み立てるための特別な ツール / スキルなどが利用できないために生じた破損 / 損傷 / 故障 / 再装着不能については責任を負いません。バイク を修理 する。
7. RE および Royal Enfield の正規ディーラーおよび / またはその代理店は、オートバイの整備 / 修理の遅れによる時間 / 金銭 の損失を含むいかなる損失についても責任を負いません。ライダーは、宿泊、その後の移動などの手配を自分で行う責任があ ります。そのようなケース。
8. バイクをさらなる修理のために別の工場に牽引する必要がある場合、または本国送還のためにライダーの母国に牽引する必要 がある場合、それはライダー自身の費用とリスクで行われるものとします。
9. 残りの利用規約は一般保証の場合と同様となります。
10. 国境を越えた保証 はインドの法律に準拠するものとし、お客様はインドのニューデリーの裁判所の専属管轄権および裁判地 に同意するものとします。

最新の認定サービス ネットワークについては、https://www.royalenfield.com/in/en/locate-us/service-centres をご覧ください。海外旅行中に Royal Enfield 正規販売店からの保証サポートやアドバイスが必要な場合は、www.royalenfield.com/borderless-warranty/ にアクセスして詳細をご確認ください。

お客様の責任

1.お客様は、問題が明らかになった時点で直ちにさらなる損害を防ぐためにあらゆる可能な措置を講じ、そのような損害から合 理的な期間内に Royal Enfield 認定ディーラー / サービス センターにその損害を通知するものとします。

2. RE が製造したオートバイを購入することにより、お客様はオートバイの所有、所有、使用、輸送に関して適用されるすべて の法律および国際法を確認し、遵守する責任を負うことになります。お客様は、適用法に違反したオートバイの購入、所有、 輸送、または使用から直接的または間接的に生じるすべての請求について、RE を補償し免責することに明示的に同意します。 RE は、正規ディーラー / 販売代理店から購入されたオートバイの誤使用については責任を負いません。

責任の制限

このポリシーに矛盾する内容がある場合でも、この保証に基づく Royal Enfield の責任は、同社の独自の裁量により、欠陥のあ るオートバイを修理することに限定されます。いかなる場合においても、Royal Enfield は、本製品の使用から生じる間接的、 特別的、結果的、偶発的な損害、人身または財産への傷害、時間損失、商業的損失、不便、その他の付随的、懲罰的、結果的損 失について一切の責任を負いません。オートバイ。

排出ガス保証

Royal Enfield は、通常の使用において同社の車両のガス状汚染物質の排出に影響を与える可能性のある部品に以下の保証が適用されることを証明します。

この排出ガス保証は、初度登録日から 30,000 km/3 年間のいずれか早い方まで有効であり、オーナーズマニュアルに規定されている保証方針、条件、義務に加えて、これらと並行して適用されます。

Royal Enfield はさらに、Royal Enfield 認定サービスディーラーによる検査で車両が指定された排出基準を満たしていない場合、認定サービスディーラーが必要な是正措置を講じ、独自の裁量で必要な排出基準を満たすために排出制御システムの部品を無料で修理または交換することを保証します。

排出保証関連部品の保証条件を決定するための検査方法は、Royal Enfield および / または当社の認定サービスセンターの独自の裁量で決定され、そのような検査の結果は最終的かつ拘束力を持ちます。検査で部品の保証条件が確立されていない場合、Royal Enfield は部品の費用に加えて、検査費用の全額または一部を顧客に請求する権利を有します。

排出ガス保証に基づいて部品が承認された場合、Royal Enfield は必要に応じて部品を無料で交換します。ただし、燃料、潤滑油、溶剤などの消耗品は実際の金額に応じて顧客に請求されます。

排出ガス保証

排出保証の対象となるコンポーネントまたは関連部品のいずれかが単独で交換できない場合、Royal Enfield は適切な修理によりアセンブリ全体またはアセンブリの一部を交換する独自の裁量を有します。

Royal Enfield は排出保証の対象となるコンポーネントの修理または交換に加えて、結果的に車両の必要な修理を行うか、部品を交換する権利を留保します。使用中の排出基準への準拠を確立するためです。このような修理 / 交換はお客様に請求されます。

保証に基づいて交換のために取り外されたすべての部品は Royal Enfield の所有物となります。

Royal Enfield は最寄りの認定サービスディーラーへの車両の輸送費用、または Royal Enfield および / またはその認定サービスディーラーによる検査および修理期間中にバイクが利用できないことによる損失について責任を負いません。

Royal Enfield は使用中の排出基準に準拠しなかったために法定当局から課される可能性のある罰金について責任を負いません。

車両の排出をチェックするために発生した費用は、お客様の負担となります。

排出ガス保証は車両の初度登録日から本書に規定されているすべての条件が満たされている限り、車両の所有権の変更に関係なく適用されます。

排出ガス保証

保証は顧客が下記の場合に適用されます

- オーナーズマニュアルに記載されているすべての重要な指示とその他の注意事項を遵守している。
- いかなる状況でも Royal Enfield が推奨する潤滑油と燃料を使用している。
- Royal Enfield のガイドラインに従って定期的にメンテナンスを実施し、その詳細を点検記録簿に記入している。
- オーナーズマニュアルの指示に従って車両をメンテナンスおよび使用し、排出ガス基準に準拠するために必要な修理および調整を行ったにもかかわらず、排出ガス基準に準拠していないことが判明した場合は、直ちに最寄りの Royal Enfield 認定サービスディーラーにご連絡ください。
- 排出ガス保証を請求するには、有効な汚染制御証明書の提示が必要です。
- 検証の詳細を記載したオーナーズマニュアルと記録簿を作成します。
- 車両の初度登録日からオーナーズマニュアルに指定されている車両のメンテナンスをカバーする領収書を発行している。
- 有効な保険証明書と RTO 登録証明書（R.C. ブック）を発行する。

排出ガス保証

排出ガス保証は、以下の場合には適用されません。

- 有効な汚染制御証明書が発行されていない。
- 車両がメンテナンス チャートに記載されているサービススケジュールに従ってRE認定サービスディーラーによってメンテナンスされていない。
- 車両が異常な使用、乱用、放置、不適切なメンテナンスを受けたか、事故に遭った。
- Royal Enfield が指定および承認していない交換部品が使用されている。
- 車両またはその部品が、許可されていない方法で改造、改ざん、変更、または交換されている。オドメーターが機能していないか、オドメーターやその表示が変更または改ざんされているため、実際の走行距離を簡単に判断できない。
- 車両が競技、レース、ラリー、あるいは記録を樹立する目的で使用された。
- Royal Enfield または認定サービスディーラーによる検査で、車両の使用およびメンテナンスに関するオーナーズマニュアルに規定されている条件のいずれかが違反されていることが判明した場合。
- 車両がオーナーズマニュアルまたは車両販売時に顧客に渡されたその他の文書でRoyal Enfieldが指定するもの以外の不純物が混入した / 鉛が混入した燃料または潤滑油を使用して走行されていた。

排出ガス保証

- 排出関連部品が改ざんされている。
- 排出ガス保証期間中に発生したサービスおよび部品関連の請求書がすべて発行されていない。
- 排出ガス保証期間中に車両に対して行われたすべてのメンテナンス作業が記録簿に記録されていない。

法律を守るためのヒント

- 必ず認可された排出ガス検査センターで車両が排出ガス規制を満たしているか検査を受けてください。
- 法律で定められている場合は、有効な汚染制御証明書を常に携帯してください。

汚染を削減するためのヒント

- オーナーズマニュアルに記載されているとおりにRoyal Enfield認定サービスディーラーで定期メンテナンスを確実に行ってください。
- 信頼できる燃料ポンプからの無鉛プレミアムガソリンのみを使用してください。
- 使用する燃料に不純物が含まれていないことを確認してください。
- オーナーズマニュアルで推奨されている正しいスパークプラグを使用してください。
- オーナーズマニュアルに記載されているグレード / ブランドの推奨事項に従って潤滑剤を使用してください。

燃料蒸発ガス防止装置保証

以下の保証は蒸発排出制御システムに適用されます。

Royal Enfield は、最初の所有者とその後の各所有者に対して、この車両が販売時に蒸発排出制御システムで指定された適用規制に準拠するように設計および製造されていること、この車両に取り付けられた蒸発排出制御システム関連部品にこの車両が適用規制を満たさなくなる原因となる材料および製造上の欠陥がないこと、車両の初度登録日から 24 か月の期間を保証します。保証期間は、車両が最初に登録された日、または車両がデモンストレーターまたは展示および / または試乗車として使用された最初の日から起算されます。

以下は蒸発排出制御システムの保証の対象外です

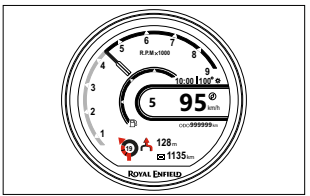
1. オーナーズマニュアルに指定されているように、誤用、改造、事故、または定期メンテナンスの不履行の結果として発生した可能性のある故障。
2. 蒸発排出ガス制御システム（燃料タンク、燃料タンクキャップ、キャニスター、パージバルブ、スロットルボディ、蒸気ホース、燃料ホース、ホースコネクタで構成）の一部を、Royal Enfield で認定されていない部品と交換、取り外し、または変更したこと。
3. 時間の損失、不便、車両の使用不能、またはその他の結果的な損失または損害。
4. オドメーターが改ざんされている、またはスピードメーターケーブルが何らかの理由で切断されている、または破損していてすぐに交換されていないため、正確な走行距離を測定できない車両。
5. 燃料ホース、ベーパーホース、ガスケット、ゴム部品などの部品の通常の劣化。

必要なメンテナンスに関する推奨事項

車両の定期メンテナンスは指定された間隔で実施することをお勧めします。また、蒸発ガス排出制御システムのメンテナンスは Royal Enfield 認定サービスディーラーで、純正の Royal Enfield スペアパーツのみを使用して実施する必要があります。

無線設備認証

TRIPPER DASH



JAPAN

R 201-240244

サービス /メ ンテナンス記録

シリアル番号	サービスの種類	スケジュール	日付	ジョブカード No.	km	ディーラーコード	サービスの概要

配線図

免責事項

配線回路の修理およびその他の電気整備は Royal Enfield 認定サービスディーラーでのみ行うことをお勧めします。これに従わないと電気システムが損傷し、車両の保証が無効になる可能性があります。



ノート

ノート

ノート

ノート

ノート

ノート

ROYAL ENFIELD

ROYALENFIELD.COM

Part No. RAM00829/A

RAM00829/A

Edition: 15th July 2026